



2012年3月期第3四半期決算説明会



新日本製鐵株式會社
2012年1月27日

目次

1. 2012年3月期第3四半期決算実績・年度決算見通し
2. ご参考データ
3. 海外事業展開について
4. 住友金属工業(株)との経営統合進捗状況について

常務取締役 太田 克彦



1. 2012年3月期第3四半期決算実績・年度決算見通し

2012年3月期第3四半期 連結決算実績・年度決算見通し概況

(億円)

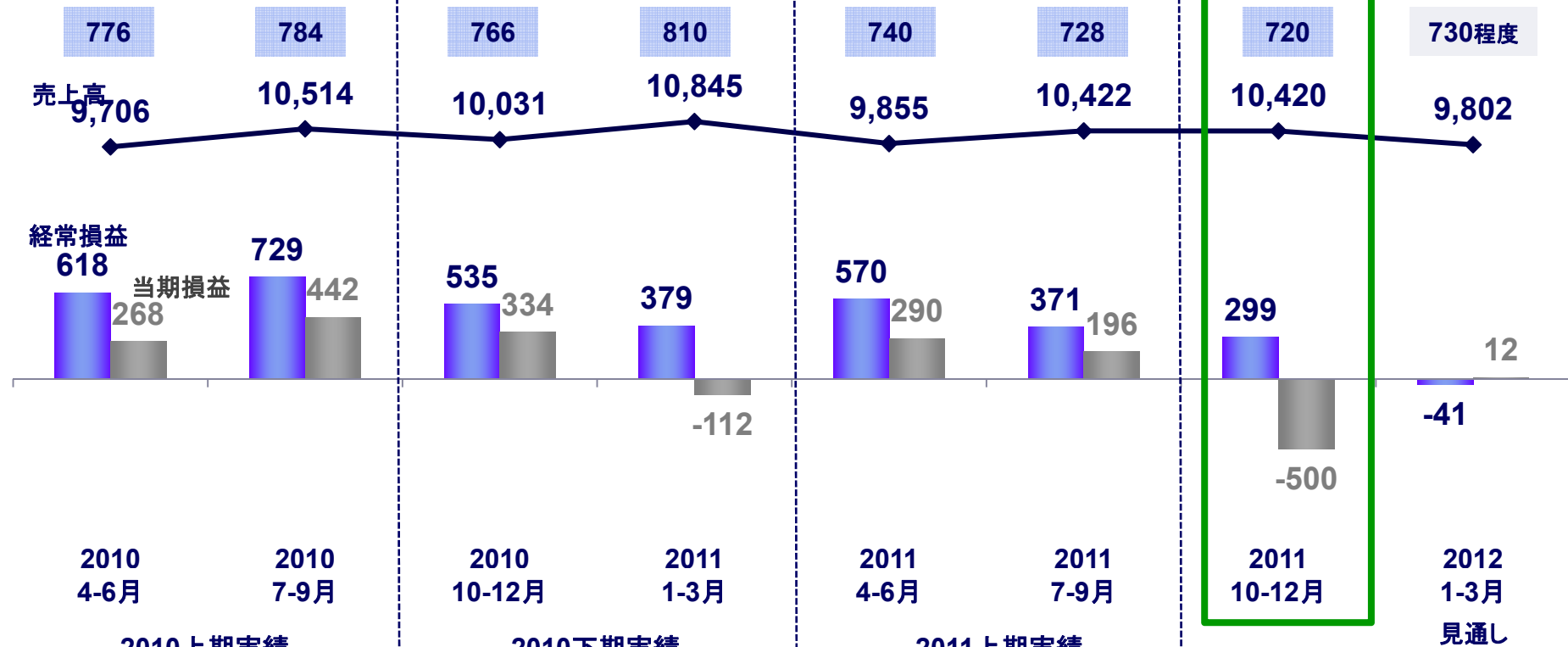
2010年度実績

売上高 41,097億円
 経常損益 2,263億円 当期損益 931億円

2011年度見通し

売上高 40,500億円
 経常損益 1,200億円 当期損益 0億円

当社鋼材出荷量(万t)



2010上期実績
 売上高 20,220億円
 経常損益 1,348億円
 当期損益 710億円

2010下期実績
 売上高 20,876億円
 経常損益 914億円
 当期損益 221億円

2011上期実績
 売上高 20,278億円
 経常損益 942億円
 当期損益 487億円

2011下期見通し
 売上高 20,222億円
 経常損益 258億円
 当期損益 -487億円



2012年3月期第3四半期実績・年度見通し損益(連結・単独)

(単位:億円)	上期実績			下期見通し		11年度見通し	前回見通し (10/26)	
	1Q実績	2Q実績	3Q実績	4Q見通し				
売上高	9,855	10,422	20,278	10,420	9,802	20,222	40,500	42,000
営業損益	385	258	644	177	-121	56	700	1,300
経常損益	570	371	942	299	-41	258	1,200	1,800
単独	338	90	429	-43	-286	-329	100	600
グループ会社等	231	280	512	343	245	588	1,100	1,200
特別損益	-74	—	-74	-890	0	-890	-964	-74
投資有価証券 評価損	—	—	—	-890	—	-890	-890	—
投資有価証券 売却損	-74	—	-74	—	—	—	-74	-74
当期損益	290	196	487	-500	12	-487	0	850
<一株当たり当期利益>	< 4.6 >	< 3.1 >	< 7.8 >	< -7.9 >	< 0.2 >	< -7.8 >	< 0.0 >	
有利子負債残高	13,576		13,654	13,876				
D/E レシオ	0.73		0.75	0.79				

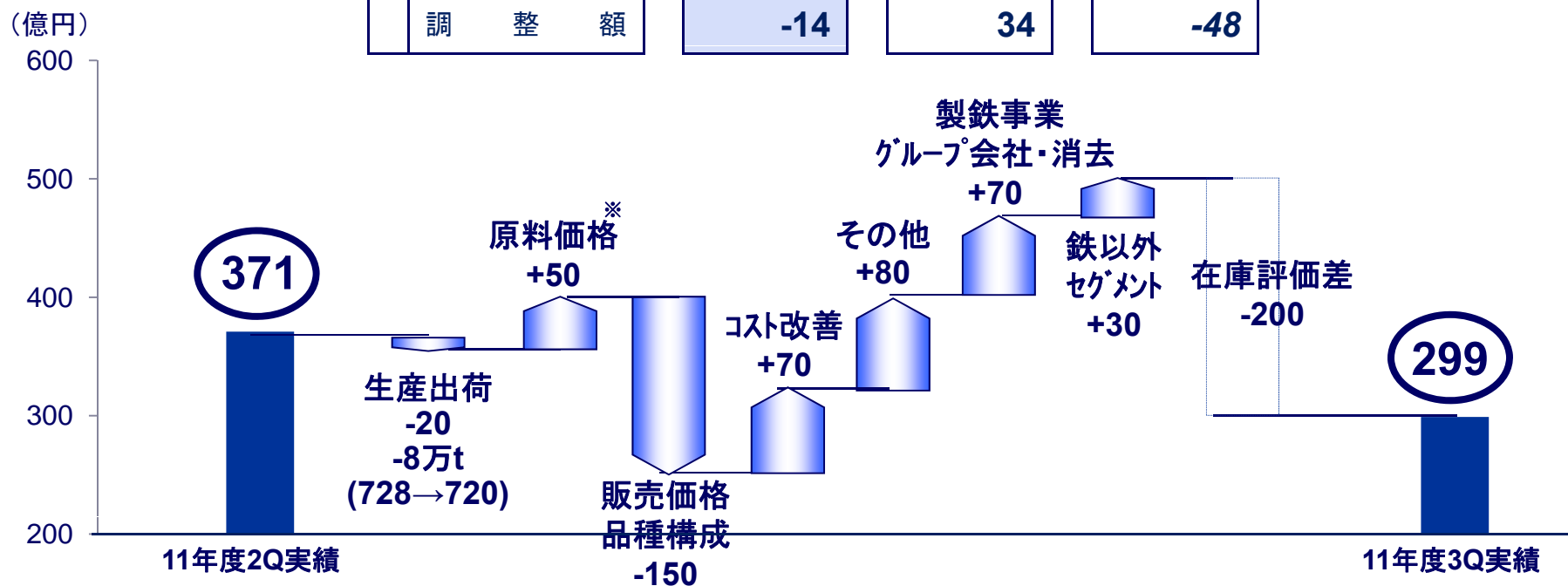
2012年3月期 連結損益差異表(連結・単独)

(単位:億円) < 参照先ページ番号 >	増 減				
	3Q実績 ←2Q実績 < P7 >	4Q見通し ←3Q実績 < P8 >	下期見通し ←上期実績 < P9 >	11年度見通し ←10年度実績 < P10 >	11年度見通し ←前回(10/26) 年度見通し < P11 >
売 上 高	-2	-618	-56	-597	-1,500
営 業 損 益	-81	-298	-588	-956	-600
経 常 損 益	-72	-340	-684	-1,063	-600
単 独	-133	-243	-758	-701	-500
グループ会社等	+61	-97	+74	-362	-100
特 別 損 益	-890	+890	-816	-555	-890
当 期 損 益	-696	+512	-974	-931	-850
< 一株当たり当期利益 >	< -11.1 >	< +8.1 >	< -15.6 >	< -14.8 >	< -13.5 >
有利子負債残高	+222				
D/E レシオ	+0.04				

※ 昨年度業績は後段18～19頁をご参照下さい。

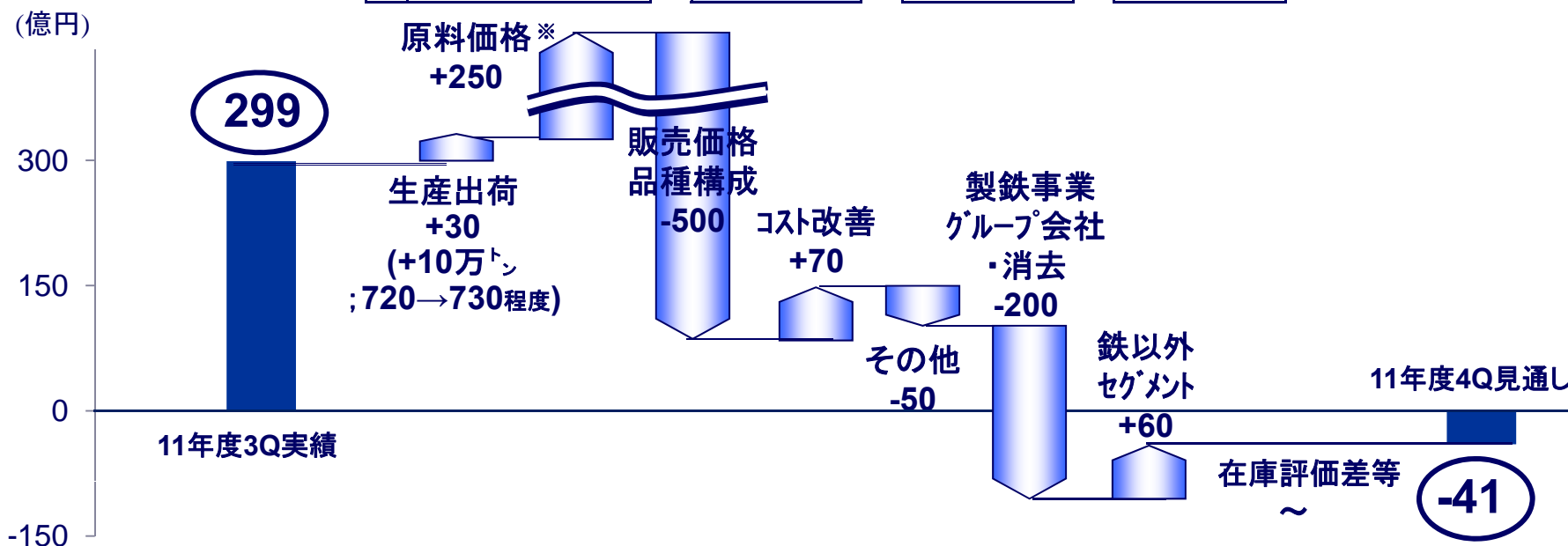
2012年3月期第3四半期 連結経常損益分析(対同年2Q実績)

(単位:億円)	11年度 3Q実績 (A)	11年度 2Q実績 (B)	増減 (A←B)
売上高	10,420	10,422	-2
経常損益	299	371	-72
単独	-43	90	-133
鉄グループ会社	243	166	+77
鉄以外セグメント	112	80	+32
調整額	-14	34	-48



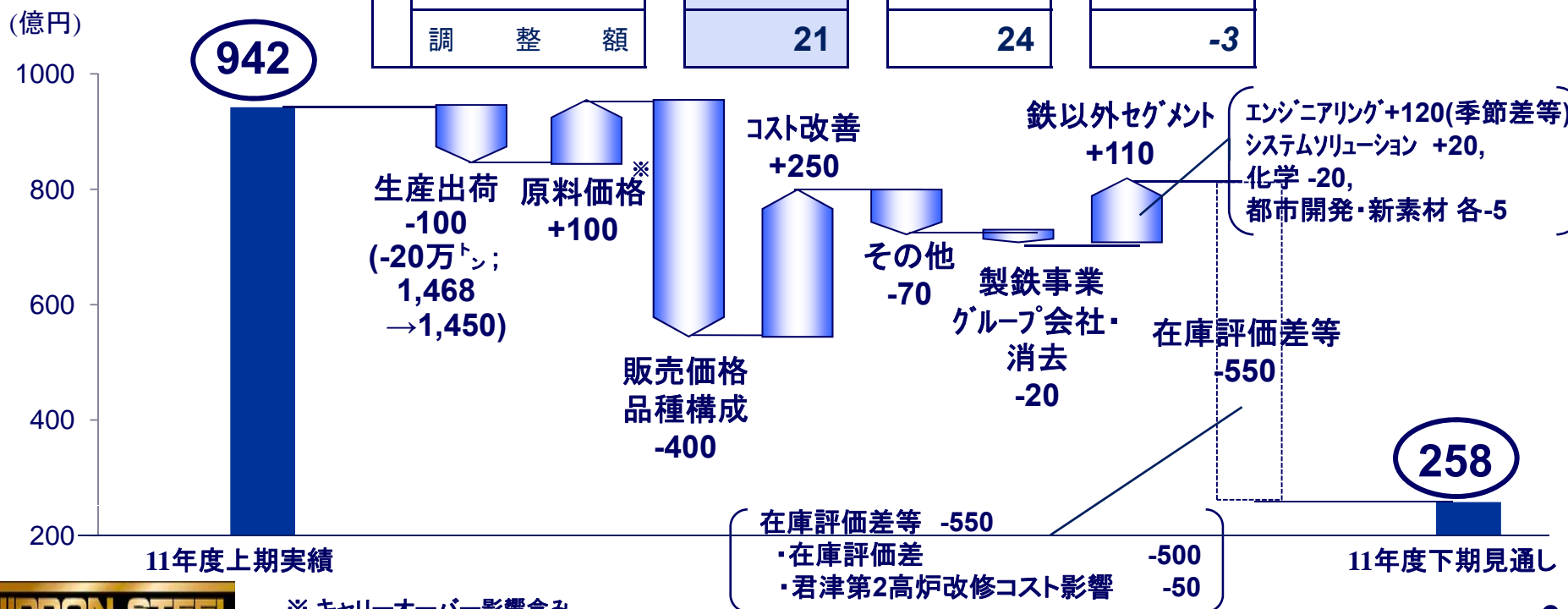
2012年3月期 年度連結決算見通し分析(3Q実績対4Q見通し)

(単位:億円)	4Q見通し (A)	3Q実績 (B)	増減 (A←B)
売上高	9,802	10,420	-618
経常損益	-41	299	-340
単独	-286	-43	-243
鉄グループ会社	44	243	-199
鉄以外セグメント	173	112	+61
調整額	35	-14	+49



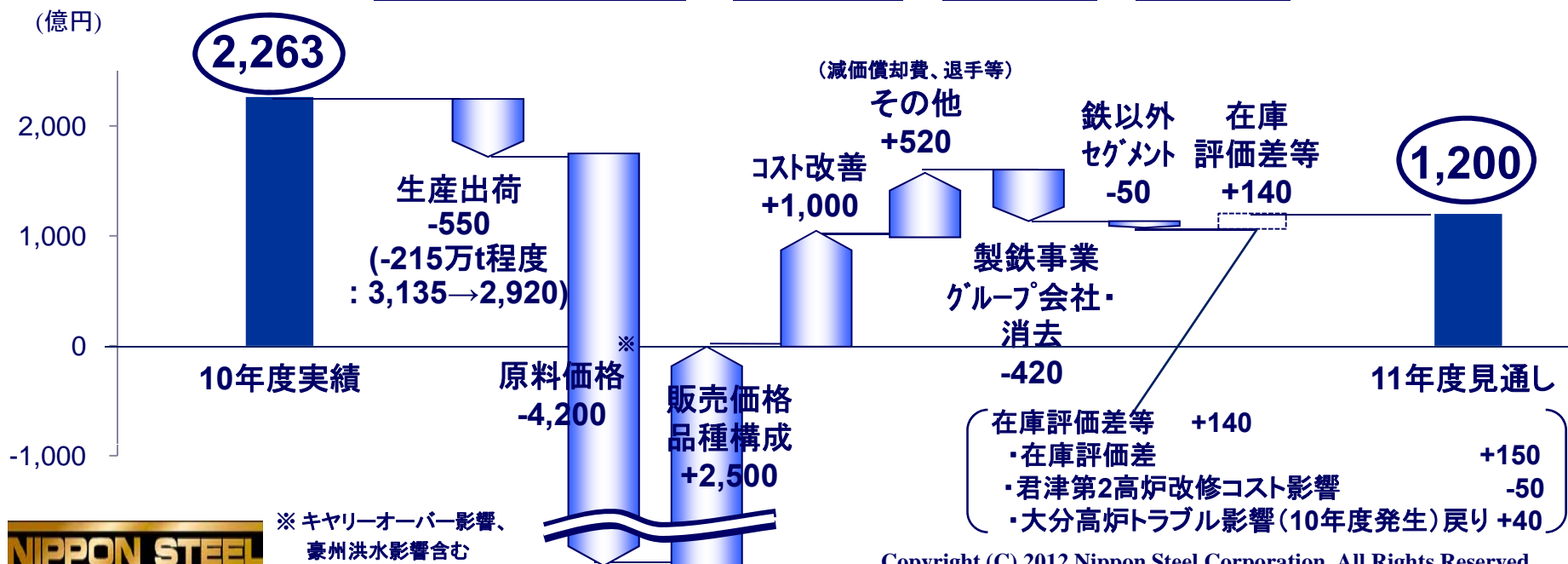
2012年3月期 年度連結決算見通し分析(上期実績対下期見通し)

(単位:億円)	11年度 下期見通し (A)	11年度 上期実績 (B)	増減 (A←B)
売上高	20,222	20,278	-56
経常損益	258	942	-684
単独	-329	429	-758
鉄グループ会社	287	313	-26
鉄以外セグメント	283	174	+109
調整額	21	24	-3



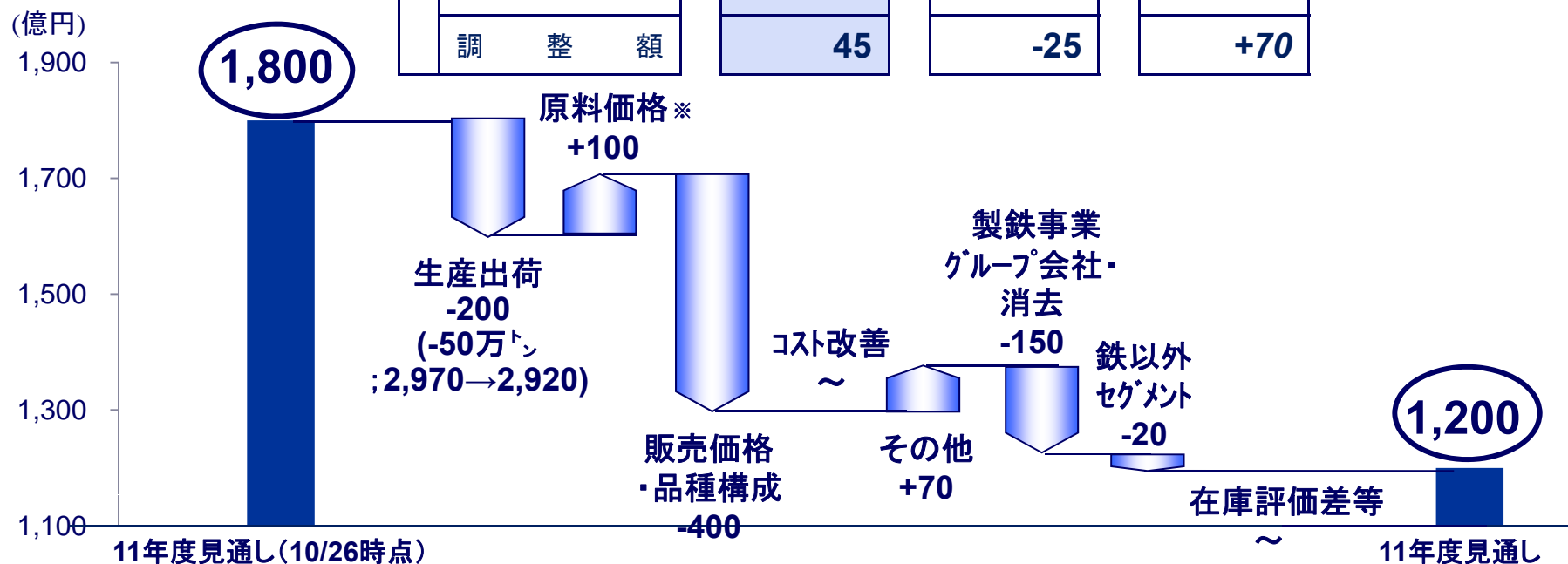
2012年3月期 年度連結決算見通し分析(前年度実績比)

(単位:億円)		11年度 見通し (A)	10年度 実績 (B)	増減 (A←B)
売上高		40,500	41,097	-597
経常損益		1,200	2,263	-1,063
単独		100	801	-701
鉄グループ会社		600	1,018	-418
鉄以外セグメント		455	506	-51
調整額		45	-64	+109


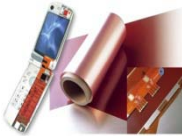
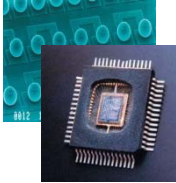



2012年3月期 年度連結決算見通し分析(対前回見通し(10/26))

(単位:億円)	11年度見通し (A)	11年度見通し <10/26> (B)	増減 (A←B)
売上高	40,500	42,000	-1,500
経常損益	1,200	1,800	-600
単独	100	600	-500
鉄グループ会社	600	750	-150
鉄以外セグメント	455	475	-20
調整額	45	-25	+70



製鉄以外5事業セグメントの概況(11年度見通し)

	11年度見通し (対前年度実績)	売上高	経常損益	概況	前回売上高 見通し (下段:今回-前回)	前回経常損益 見通し (下段:今回-前回)
 エンジニアリング 製鉄プラント、環境ソリューション、 海洋、エネルギー、橋梁、建築	2,500 (-49)	125 (-23)		売上減及び円高等による影響もあり、 売上高・経常損益共に減収減益の見 通し。	2,500 (～)	125 (～)
 都市開発 住宅、都市開発、大規模地 域開発、ビルマネジメント	750 (-115)	75 (-17)		前年度に都心の大型高収益物件の販 売があったため、対前年度減収減益 の見通し。	750 (～)	70 (+5)
 化学 コルケミカル、化学品、機能材 料	1,950 (+12)	125 (-8)		スチレンモノマー・ビスフェノールのマージン悪化 に加え、液晶TVの生産調整やタイ洪水 による需要家の被災影響により、対前 年度減益の見通し。	2,100 (-150)	135 (-10)
 新素材 半導体・電子産業部材、産業 基礎部材、エネルギー・環境部 材	550 (-58)	5 (-16)		半導体・電子産業部材、炭素繊維、コ ンポジット部材において、市況低迷や タイ洪水、円高定着の影響を受け、減 収減益の見通し。	650 (-100)	20 (-15)
 システムソリューション 業務ソリューション、基盤ソリュー ション、ビジネスサービス	1,650 (+53)	125 (+12)		事業環境の厳しさは継続しているもの の、業務ソリューション・基盤ソリュー ションを中心に増収が見込まれ、増益 の見通し。	1,650 (～)	125 (～)
製鉄以外5事業 セグメント計	7,400 (-157)	455 (-51)			7,650 (-250)	475 (-20)

連結貸借対照表 (2011/3月末→2011/12月末)

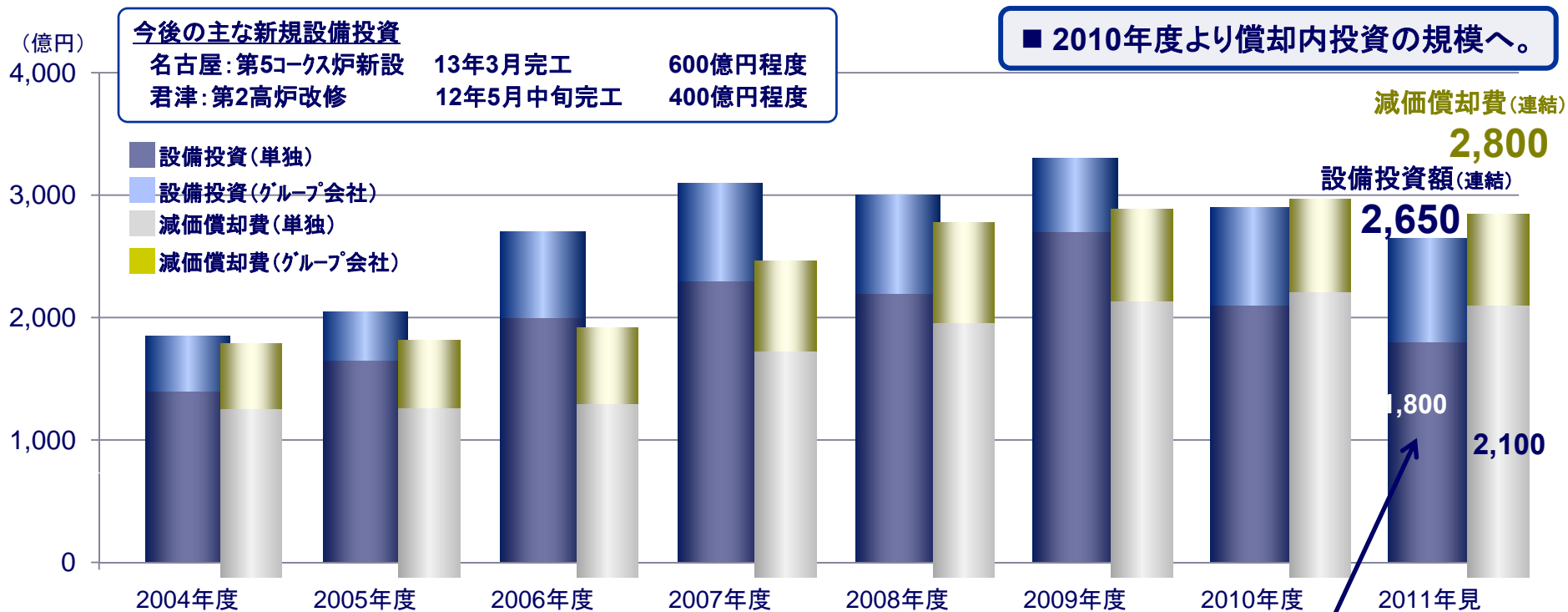
- 12月末総資産4兆8,520億円。投資勘定の減少等により、-1,488億円の総資産減少。
- 2011年度第3四半期 有利子負債残高 13,876億円、D/E 0.79。

(単位: 億円)

資産の部	11/12末	11/03末	増減	負債及び純資産の部	11/12末	11/03末	増減
流動資産	17,115	17,105	+10	流動負債	13,916	13,583	+333
現金及び預金	673	727	-54	支払手形及び買掛金	4,736	4,765	-29
受取手形及び売掛金	3,892	4,599	-707	短期借入金・コマーシャルペーパー・社債	4,384	3,421	+963
たな卸資産	10,070	9,292	+778	その他	4,795	5,395	-600
その他	2,479	2,486	-7				
				固定負債	11,878	12,615	-737
固定資産	31,404	32,902	-1,498	社債・長期借入金	9,424	9,875	-451
有形	18,287	18,183	+104	その他	2,453	2,740	-287
無形	667	626	+41	負債計	25,795	26,199	-404
投資等	12,449	14,092	-1,643	株主資本	17,649	17,943	-294
(うち時価評価差額)	(986)	(1,758)	(-771)	その他の包括利益	-160	664	-824
				少数株主持分	5,236	5,201	+35
				純資産計	22,724	23,809	-1,085
資産計	48,520	50,008	-1,488	負債及び純資産計	48,520	50,008	-1,488

設備投資・減価償却費

上段：連結 (下段：単独)	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度 見通し
設備投資額 <工事ベース>	1,850 (1,400)	2,050 (1,650)	2,700 (2,000)	3,100 (2,300)	3,000 (2,200)	3,300 (2,700)	2,900 (2,100)	2,650 (1,800)
減価償却費	1,805 (1,299)	1,833 (1,306)	1,925 (1,342)	2,440 (1,749)	2,737 (1,963)	2,840 (2,136)	2,915 (2,201)	2,800 (2,100)



安価原料使用拡大対策 能力増強・高級鋼対応 コスト削減
老朽更新・補修 製造基盤整備・安全防災環境

剰余金の配当方針について

当社は既公表の配当方針に基づき、第2四半期末(中間期末)の剰余金配当として
1株当たり1.5円の配当を行うとともに、
第3四半期決算公表時に当期末の配当予想額を公表する予定としてまいりました。

しかしながら、株式市場の変動による投資有価証券評価損等の変動リスクが
大きいことから、年度決算が確定した時点で、既公表の配当方針を踏まえて、
当期末の剰余金配当をご提案させていただくことと致したいと存じます。



2. ご参考データ

1) 業績推移

連結業績推移

(単位:億円)	10年度				11年度 見通し
	上期	3Q	4Q	下期	
売上高	20,220	10,031	10,845	20,876	41,097
営業損益	1,181	339	135	474	1,656
経常損益	1,348	535	379	914	2,263
単独	608	124	68	193	801
グループ会社等	740	411	311	721	1,462
特別損益	-72	-1	-335	-337	-409
災害損失	—	—	-237	-237	-237
投資有価証券 売却損	—	—	—	—	—
投資有価証券 評価損	—	—	-58	-58	-58
その他	-72	-1	-40	-41	-114
当期損益	710	334	-112	221	931
<一株当たり当期利益>	<11.3>	<5.3>	<-1.8>	<3.5>	<14.8>
有利子負債残高	13,821	13,998		13,378	13,654
D / E レシオ	0.77	0.75		0.72	0.75
					0.79

セグメント別業績推移

(単位:億円) 〔上段:売上高 下段:経常損益〕	10年度					11年度 見通し				
	上期	下期		下期		上期	下期 見通し		下期 見通し	
		3Q	4Q				3Q	4Q見		
製鉄事業	17,186	8,594	8,954	17,548	34,734	17,516	8,898	8,086	16,984	34,500
	1,176	435	207	643	1,819	742	200	-242	-42	700
エンジニアリング	1,236	552	760	1,312	2,549	967	647	886	1,533	2,500
	70	21	57	78	148	1	26	98	124	125
都市開発	387	159	318	477	865	279	246	225	471	750
	42	25	25	50	92	40	36	-1	35	75
化学	944	502	491	994	1,938	1,010	488	452	940	1,950
	49	44	38	83	132	73	33	19	52	125
新素材	309	151	148	299	608	286	134	130	264	550
	15	0	5	6	21	5	-3	3	0	5
システムソリューション	737	354	505	859	1,597	762	344	544	888	1,650
	44	27	42	69	113	53	18	54	72	125
製鉄以外5事業 セグメント計	3,615	1,720	2,223	3,944	7,557	3,305	1,861	2,237	4,096	7,400
	220	117	167	286	506	174	112	173	283	455

2) 鉄鋼マーケット環境等

世界の経済成長率推移

<2012年1月24日IMF改定値>

緑色記載数値：インフレ率(%) 2011年9月20日時点

	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011 前回(2011.9.20)		2012 見通し	2013 見通し
世界合計	4.4	5.1	4.0 5.2	6.0 3.0	2.5 -0.5	3.7 5.2	5.0 (4.0)	3.8	3.7 (4.0) 3.3	3.9
先進諸国	2.6	3.0	2.2 2.7	3.4 0.5	0.1 -3.4	1.6 3.2	2.6 (1.6)	1.6	1.4 (1.9) 1.2	1.9
米国	3.1	2.8	2.9 2.1	3.8 0.4	-0.3 -2.6	1.6 3.0	3.0 (1.5)	1.8	1.2 (1.8) 1.8	2.2
欧州	1.6	2.8	2.1 2.7	3.3 0.6	0.3 -4.1	1.6 1.9	2.5 (1.6)	1.6	1.5 (1.1) -0.5	0.8
日本	1.9	2.4	0.0 2.3	1.4 -1.2	-1.4 -6.3	-0.7 4.4	-0.4 (-0.5)	-0.9	-0.5 (2.3) 1.7	1.6
新興諸国	7.1	7.9	6.5 8.3	9.2 6.1	5.2 2.7	6.1 7.3	7.5 (6.4)	6.2	5.9 (6.1) 5.4	5.9
中国	10.4	11.6	4.8 13.0	5.9 9.6	-0.7 9.2	3.3 10.4	5.5 (9.5)	9.2	3.3 (9.0) 8.2	8.8
インド	9.1	9.8	6.4 9.4	8.3 7.3	10.9 6.8	12.0 9.9	10.6 (7.8)	7.4	8.6 (7.5) 7.0	7.3
ASEAN5*	5.5	5.7	4.3 6.3	9.3 4.7	2.9 1.7	4.4 6.9	6.1 (5.3)	4.8	5.6 (5.6) 5.2	5.6
ロシア	6.4	7.4	9.0 8.1	14.1 5.6	11.7 -7.8	6.9 4.0	8.9 (4.3)	4.1	7.3 (4.1) 3.3	3.5
ブラジル	3.2	3.8	3.6 5.7	5.7 5.1	4.9 -0.6	5.0 7.5	6.6 (3.8)	2.9	5.2 (3.6) 3.0	4.0

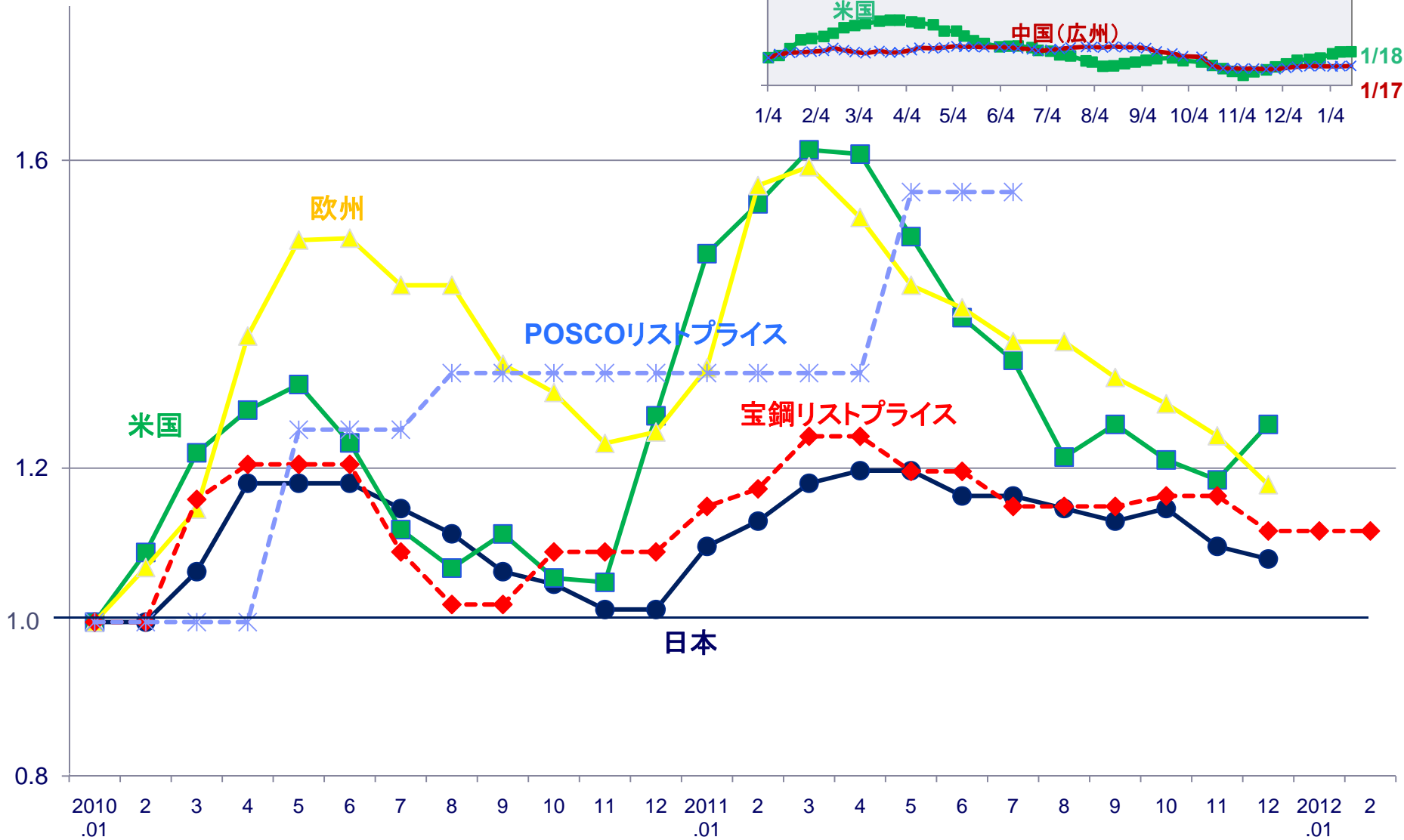
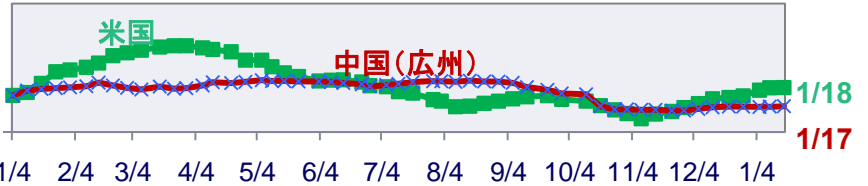
*ASEAN 5：タイ、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ヴェトナム

(出所：IMF)

世界各国ホットコイル市況推移

(2010年1月 各現地通貨ベースホットコイル価格=1.0)

cf1) 直近の米国・中国(広州)市況

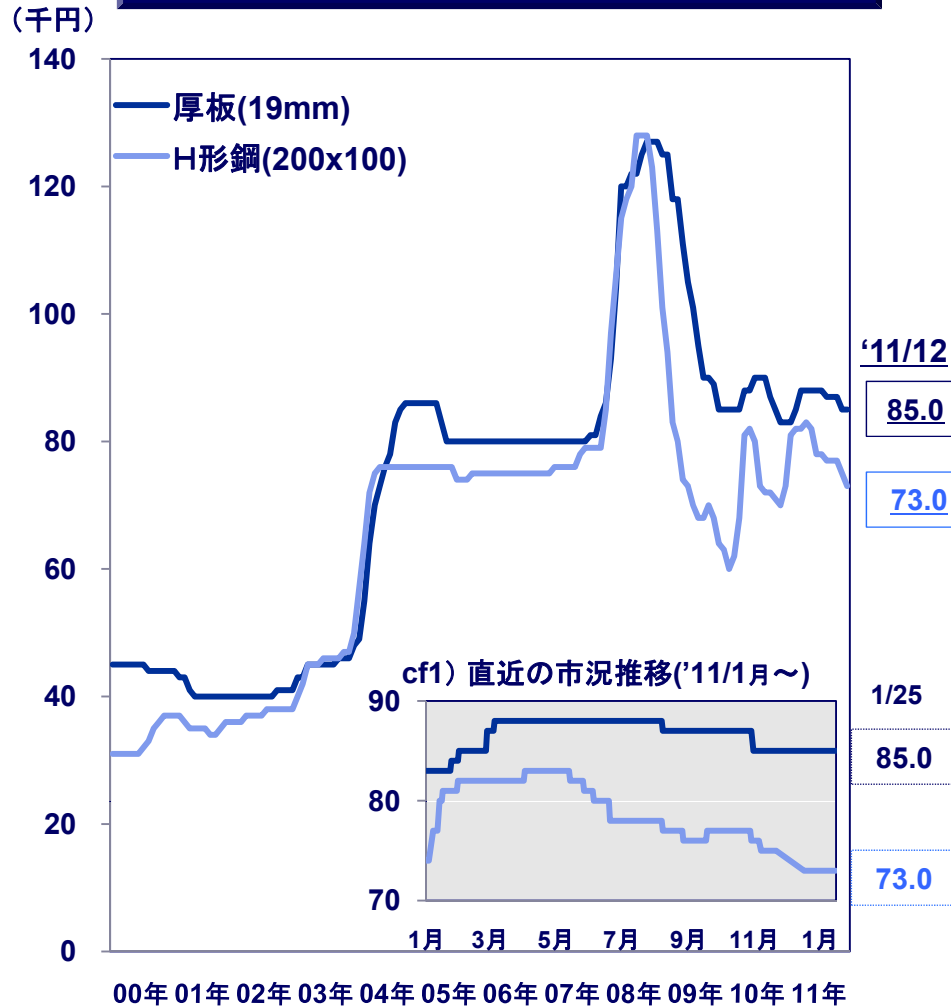


(出所: 日本鉄鋼連盟等データより当社作成)

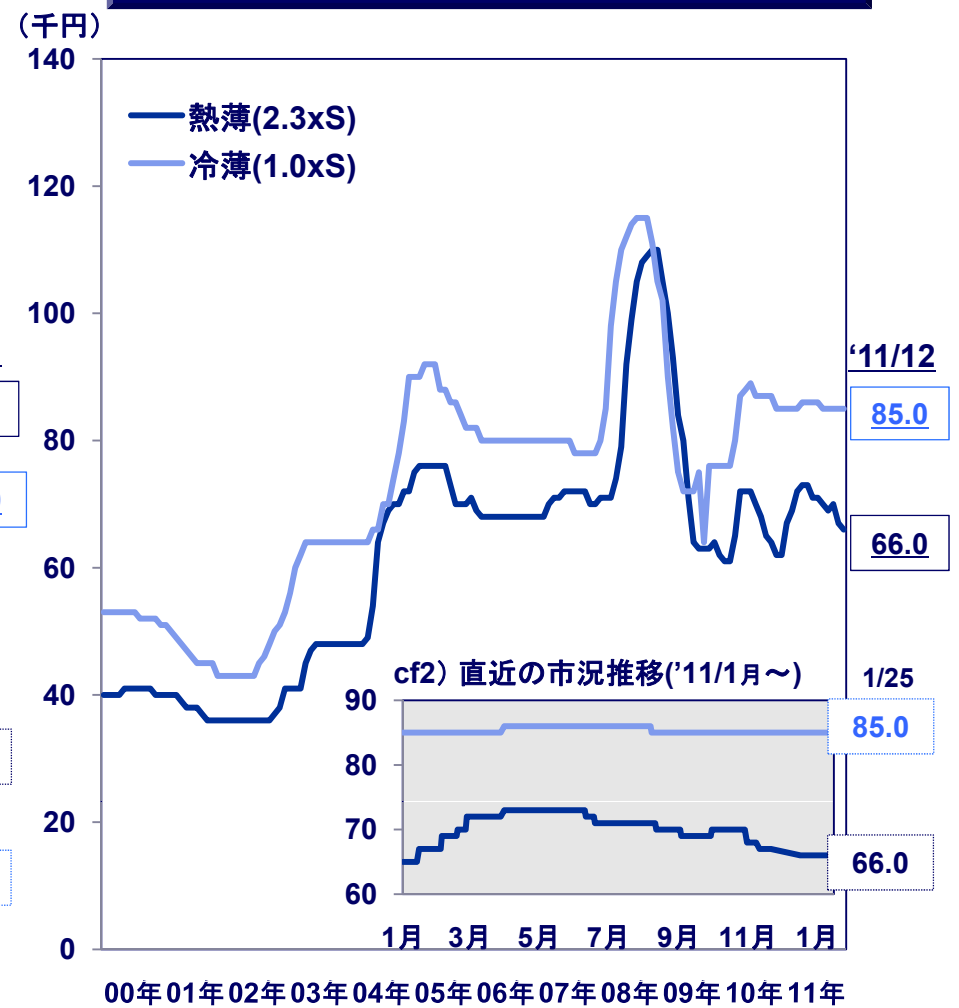
Copyright (C) 2012 Nippon Steel Corporation All Rights Reserved.

国内鋼材市況（店頭価格）

厚板・H形鋼



熱延薄板・冷延薄板



（出所：鉄鋼新聞・月末・東京安値、問屋間仲間相場価格）

世界粗鋼生産量

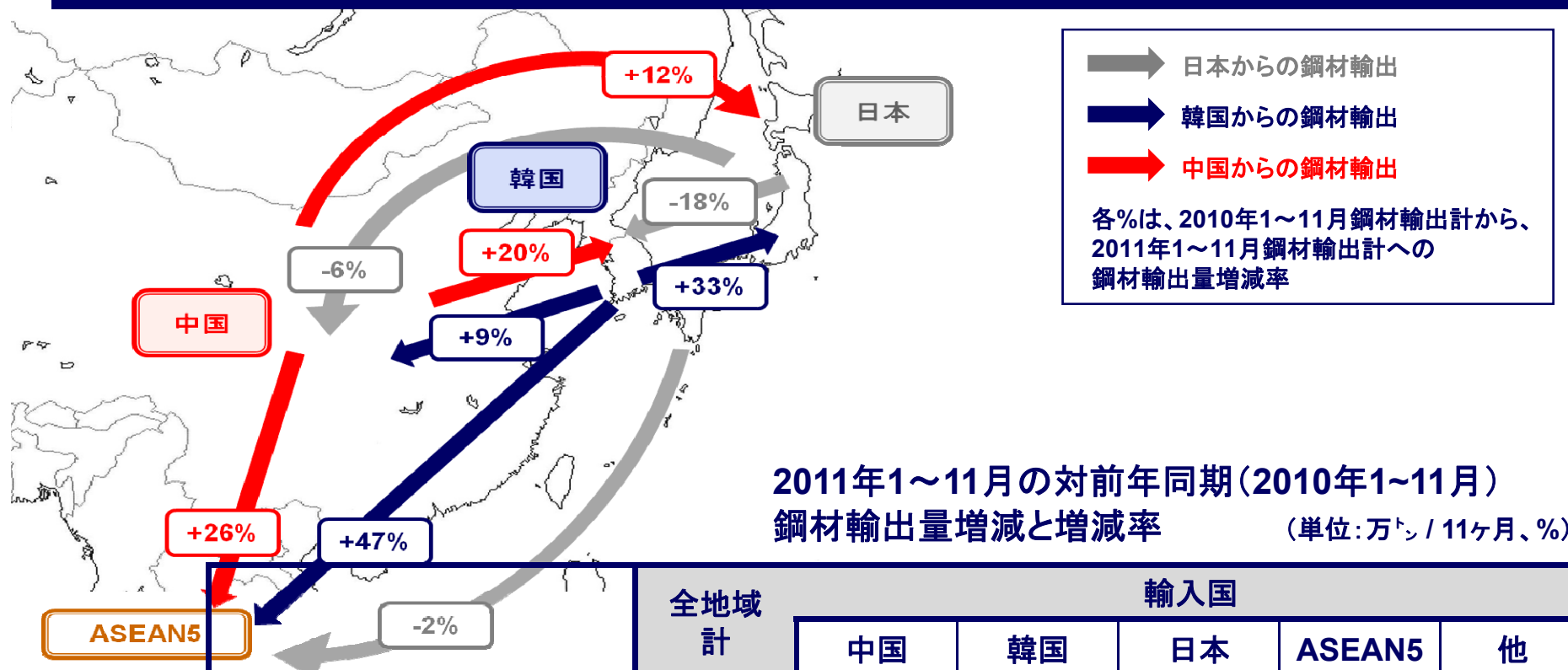
(単位:百万t)

	2008暦年	2009暦年	2010暦年	2011暦年							
				1-3月	4-6月	7-9月	10月	11月	12月	10-12月	
世界 合計*1 (対前年同期)	1,327.2 (▼1.4%)	1,229.4 (▼7.4%)	1,413.6 (+15.0%)	373.2 (+9.7%)	384.6 (+5.7%)	375.6 (+10.3%)	124.0 (+6.2%)	115.5 (+1.1%)	117.1 (+1.7%)	356.5 (+3.0%)	1,490.1 (+5.4%)
日本 (対前年同期)	118.7 (▼1.2%)	87.5 (▼26.3%)	109.6 (+25.2%)	27.7 (+4.4%)	26.4 (▼6.1%)	26.9 (▼1.7%)	9.5 (▼0.3%)	8.7 (▼3.2%)	8.4 (▼8.4%)	26.6 (▼4.0%)	107.6 (▼1.8%)
韓国	53.6	48.6	58.4	16.4	17.4	16.6	6.1	5.8	6.0	17.8	68.5
米国	91.4	58.2	80.5	21.1	21.6	22.2	7.3	7.2	7.3	21.8	86.2
欧州	198.2	139.4	172.6	45.6	47.8	42.3	15.3	14.2	12.5	42.1	177.4
ロシア	68.5	60.0	66.9	17.3	17.3	17.6	5.9	5.6	5.9	17.4	68.7
ブラジル	33.7	26.5	32.9	8.5	9.2	8.9	2.9	2.7	2.7	8.3	35.2
インド	57.8	63.5	68.3	17.7	18.0	18.3	6.2	6.0	6.2	18.3	72.2
中国 (対前年同期)	500.3 (+2.3%)	573.6 (+14.6%)	627.5 (+9.4%)	171.3 (+10.3%)	179.2 (+8.9%)	174.8 (+15.2%)	54.7 (+9.7%)	49.9 (▼0.2%)	52.2 (+0.7%)	156.7 (+3.3%)	683.3 (+8.9%)

*1 世界64カ国の合計値

(出所: World Steel Association)

東アジア鋼材貿易量の変化



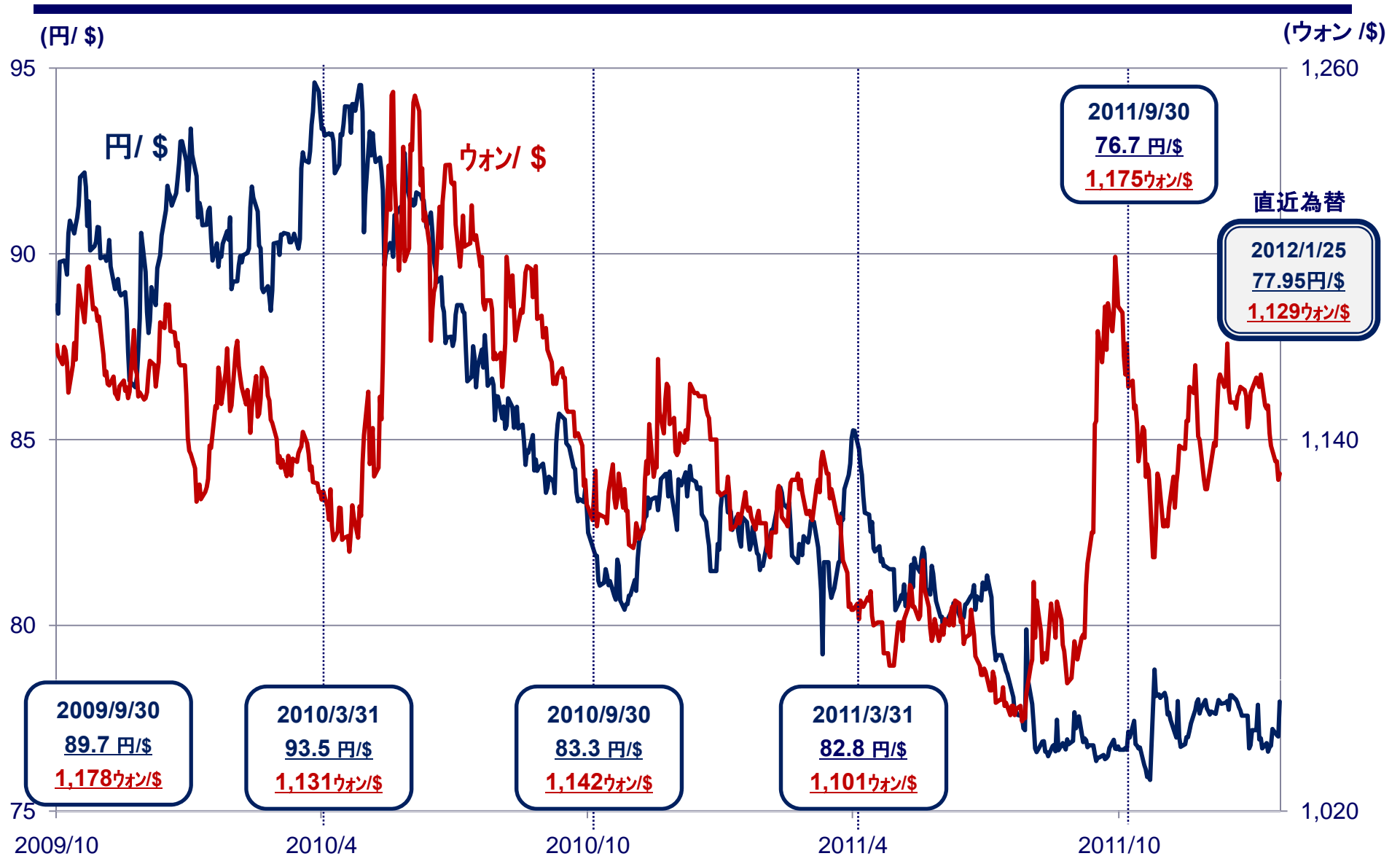
日本からの鋼材輸出
 韓国からの鋼材輸出
 中国からの鋼材輸出

各%は、2010年1～11月鋼材輸出計から、
 2011年1～11月鋼材輸出計への
 鋼材輸出量増減率

2011年1～11月の対前年同期(2010年1～11月)
 鋼材輸出量増減と増減率 (単位:万ト/11ヶ月、%)

			全地域計	輸入国				
				中国	韓国	日本	ASEAN5	他
輸出国	中国	数量変動	+512		+152	+8	+128	+224
		増減率	+13%		+20%	+12%	+26%	+9%
	韓国	数量変動	+406	+31		+80	+151	+144
		増減率	+19%	+9%		+33%	+47%	+11%
	日本	数量変動	-159	-45	-178		-13	+78
		増減率	-4%	-6%	-18%		-2%	+6%

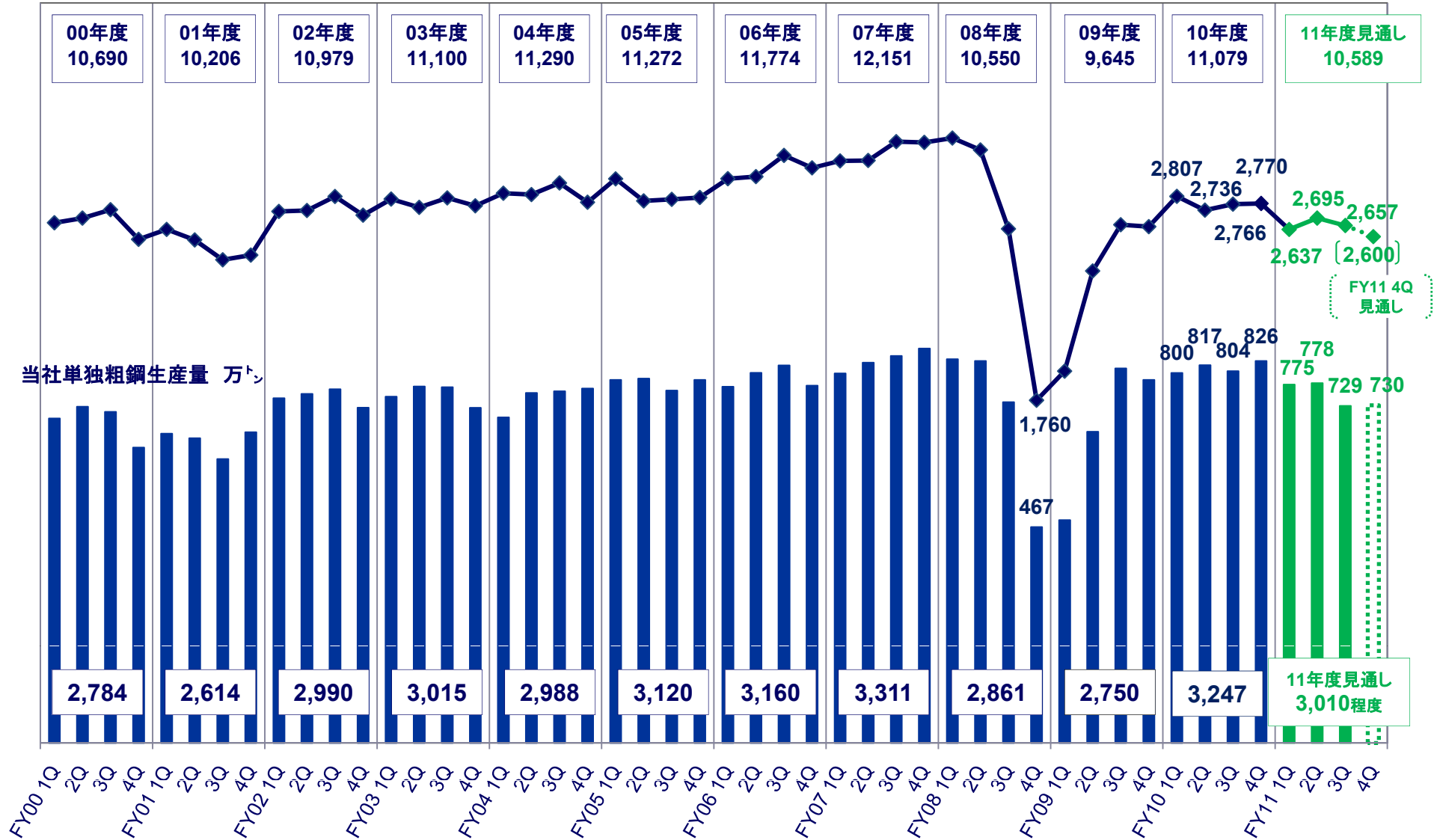
足下の為替動向(円ドル・ウォンドル)



全国・当社粗鋼生産量 四半期別推移

全国粗鋼生産量 万ト

(2011/12/27 FY11 4Q全国粗鋼生産量 経済産業省発表)



製鉄事業諸元前提

	2010年度					2011年度				
	上期	3Q	4Q	下期	実績	上期	3Q	4Q 見通し	下期 見通し	年度 見通し
全国粗鋼生産量 万トン	5,542	2,766	2,770	5,537	11,079	5,331	2,657	2,600	5,257程度	10,589程度
当社出銑量 ^{*1} 万トン	1,592	815	811	1,626	3,218	1,579	757	740程度	1,500程度	3,080程度
連結粗鋼生産量 万トン <参考>当社単独	1,735 <1,617>	868 <804>	889 <826>	1,757 <1,630>	3,492 <3,247>	1,661 <1,553>	785 <729>	790程度 <730程度>	1,570程度 <1,460程度>	3,230程度 <3,010程度>
当社鋼材出荷量 万トン	1,559	766	810	1,576	3,135	1,468	720	730程度	1,450程度	2,920程度
当社販売価格 千円/トン	82.8	81.4	79.7	80.6	81.7	87.8	87.6	82程度	85程度	86程度
鋼材輸出比率 (金額ベース) %	40.5	39.8	40.9	40.4	40.4	41.0	36.9	37程度	37程度	39程度
為替レート ¥/\$	90	83	82	82	86	80	78	80程度	79程度	79程度

*1 北海製鉄の出銑量含む

主要需要分野の活動水準推移

		2010年度					2011年度					11年度見通し ← 10年度実績
		上期	3Q	4Q	下期	年度実績	上期	3Q	4Q見	下期見通し	年度見通し	
建築	住宅着工戸数 万戸	41	22	19	41	82	43	22	19	41	84	+3%
	非住宅着工 万㎡	2,310	1,059	1,080	2,138	4,449	2,495	1,042	1,063	2,105	4,600	+3%
自動車	完成車生産台数 万台	478	230	191	421	899	390	259	275	534	924	+3%
	完成車輸出台数 万台	238	132	111	243	480	198	121	141	262	460	▼4%
	海外生産(8社) 万台	630	344	360	704	1,334	479	223 ^{*1}				
産業機械	大中型シヨベル 千台	27	17	16	33	60	33	21	18	39	72	+21%
	金属工作機械 千ト	160	95	107	202	362	222	117	117	233	456	+26%
	フォークリフト 千台	53	28	25	54	107	59	31	31	62	121	+13%
電機	鉱工業生産指数 ^{*2} (原数値) 05年=100	93	97	95	96	95	96	99				
造船	新造船起工 (当社推定) 万GT	945	442	448	891	1,835	880	400	380	780	1,660	▼10%

*1 10月・11月の2カ月間生産台数

(出所:各種統計資料・当社推定)

*2 電気機械工業(品目番号40)

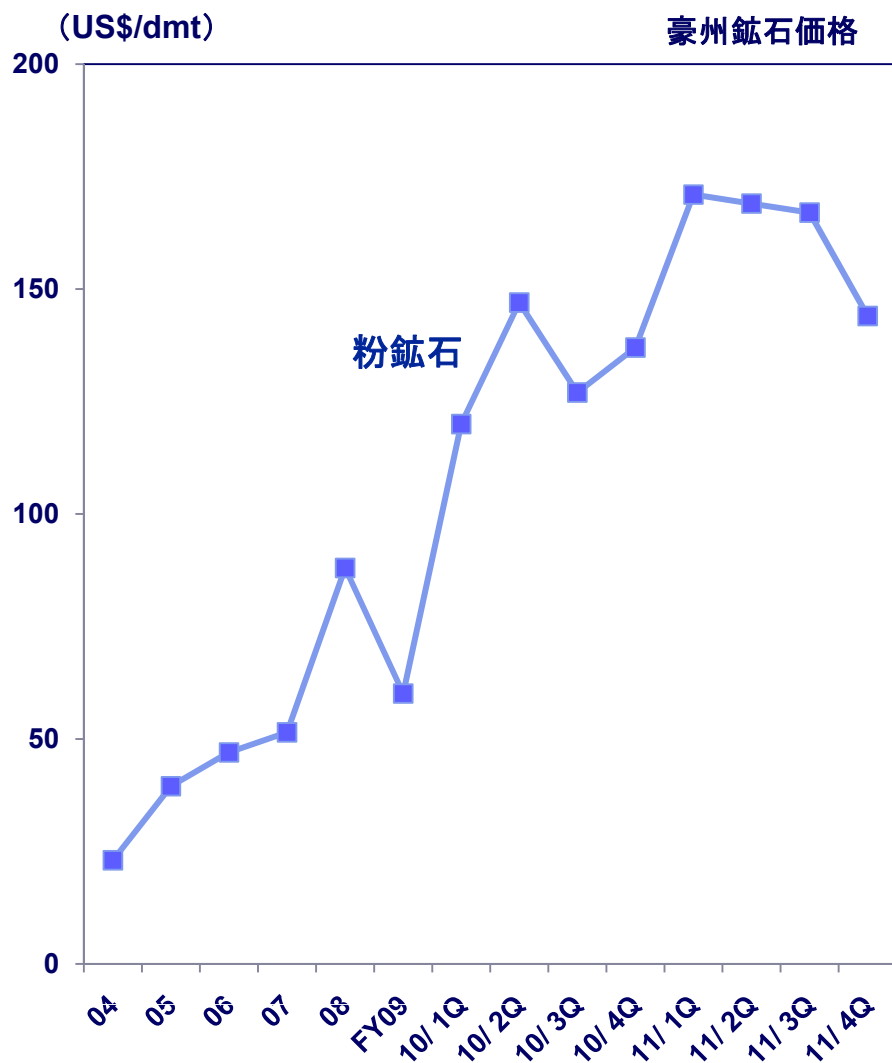
主要需要分野の鋼材消費推移

	2010年度					2011年度				
	上期	3Q	4Q	下期	年度実績	上期見通し	3Q見	4Q見	下期見通し	年度見通し
国内鋼材消費 万トン	3,034	1,561	1,437	2,998	6,032	2,965	1,623	1,575	3,198	6,163
製造業比率	68.1%	67.2%	66.3%	66.8%	67.4%	67.3%	66.8%	68.7%	67.7%	67.5%
普通鋼鋼材消費 万トン	2,420	1,244	1,152	2,396	4,816	2,352	1,292	1,259	2,550	4,903
建設 万トン	913	484	459	943	1,856	910	506	464	971	1,880
製造業 万トン	1,507	760	693	1,453	2,961	1,443	785	794	1,580	3,022
(うち造船) 万トン	305	147	147	295	600	280	128	125	253	534
(うち自動車) 万トン	569	277	211	488	1,057	503	305	327	632	1,136
(うち産業機械) 万トン	215	121	119	240	455	249	137	128	265	514
(うち電気機械) 万トン	163	84	80	164	327	158	78	79	158	315
特殊鋼鋼材消費 万トン	614	317	285	602	1,216	613	331	317	647	1,260

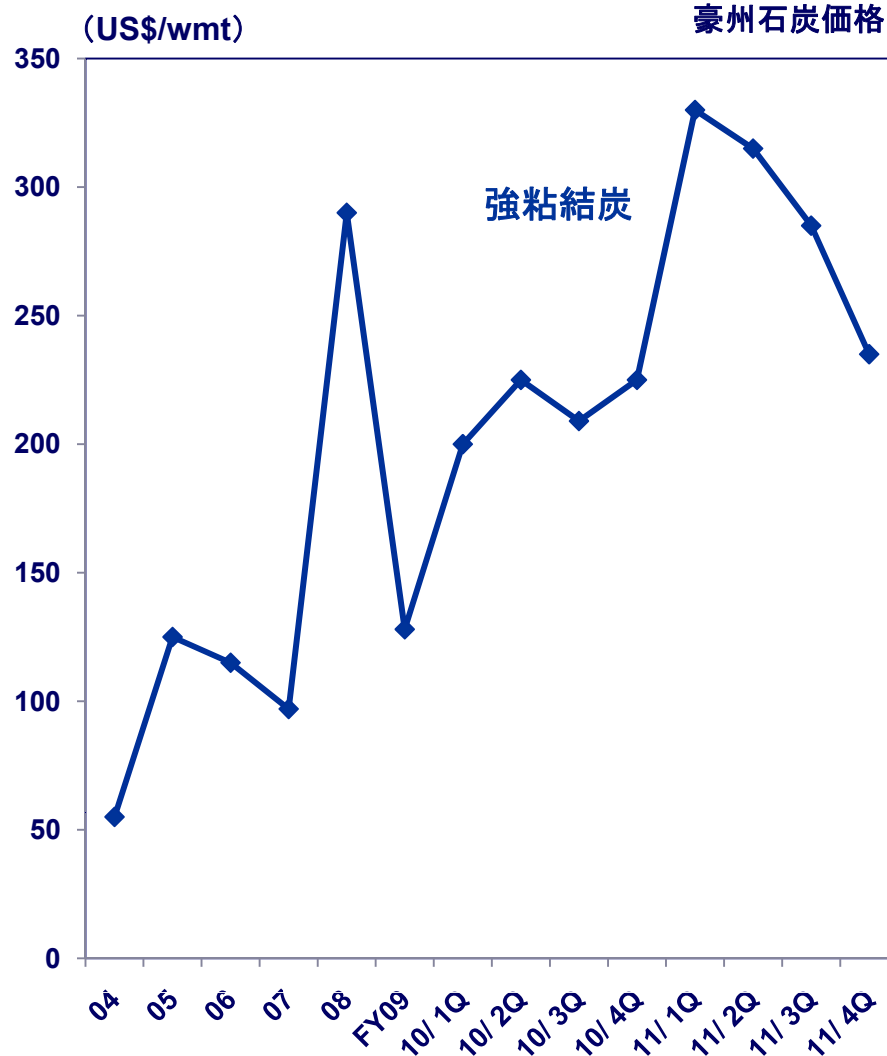
(出所:各種統計資料・当社推定)

鉄鉱石・原料炭の国際価格推移

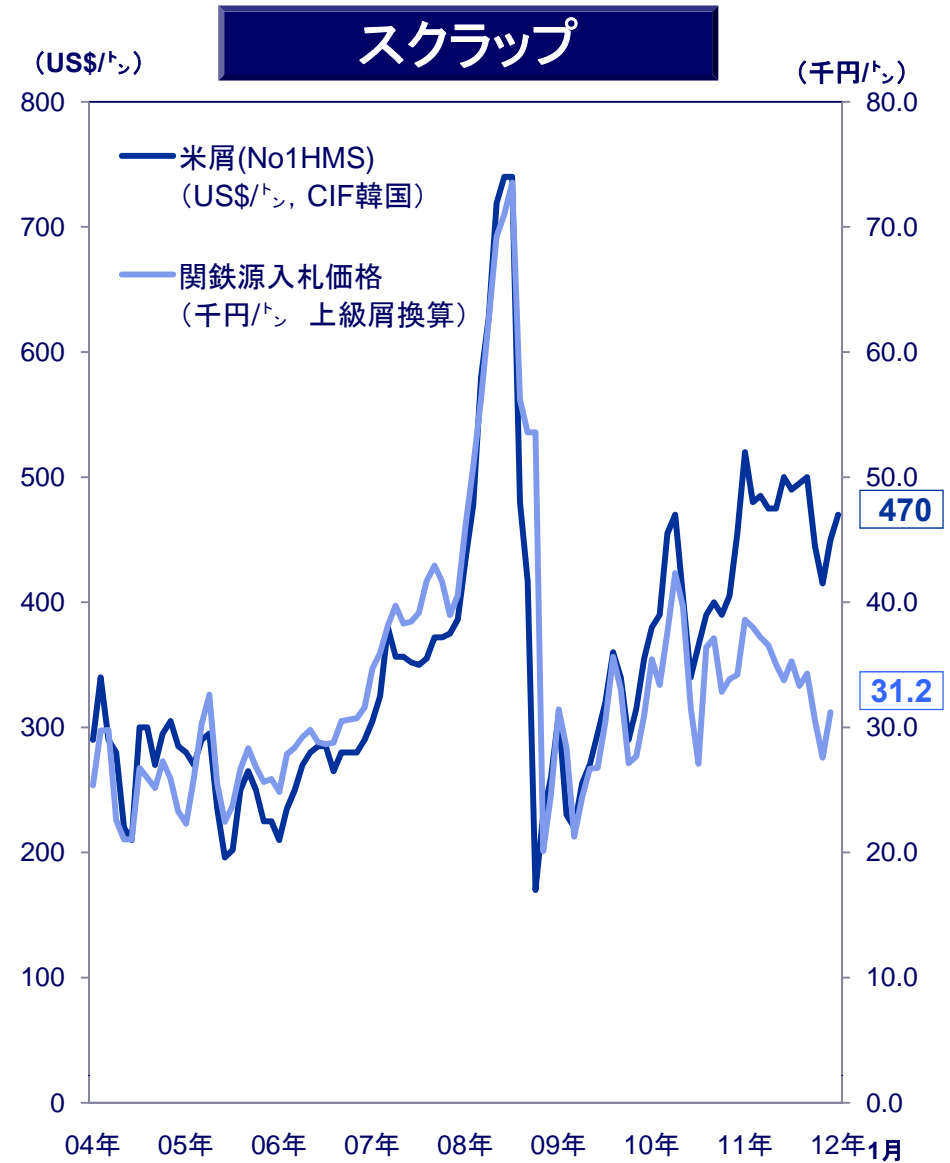
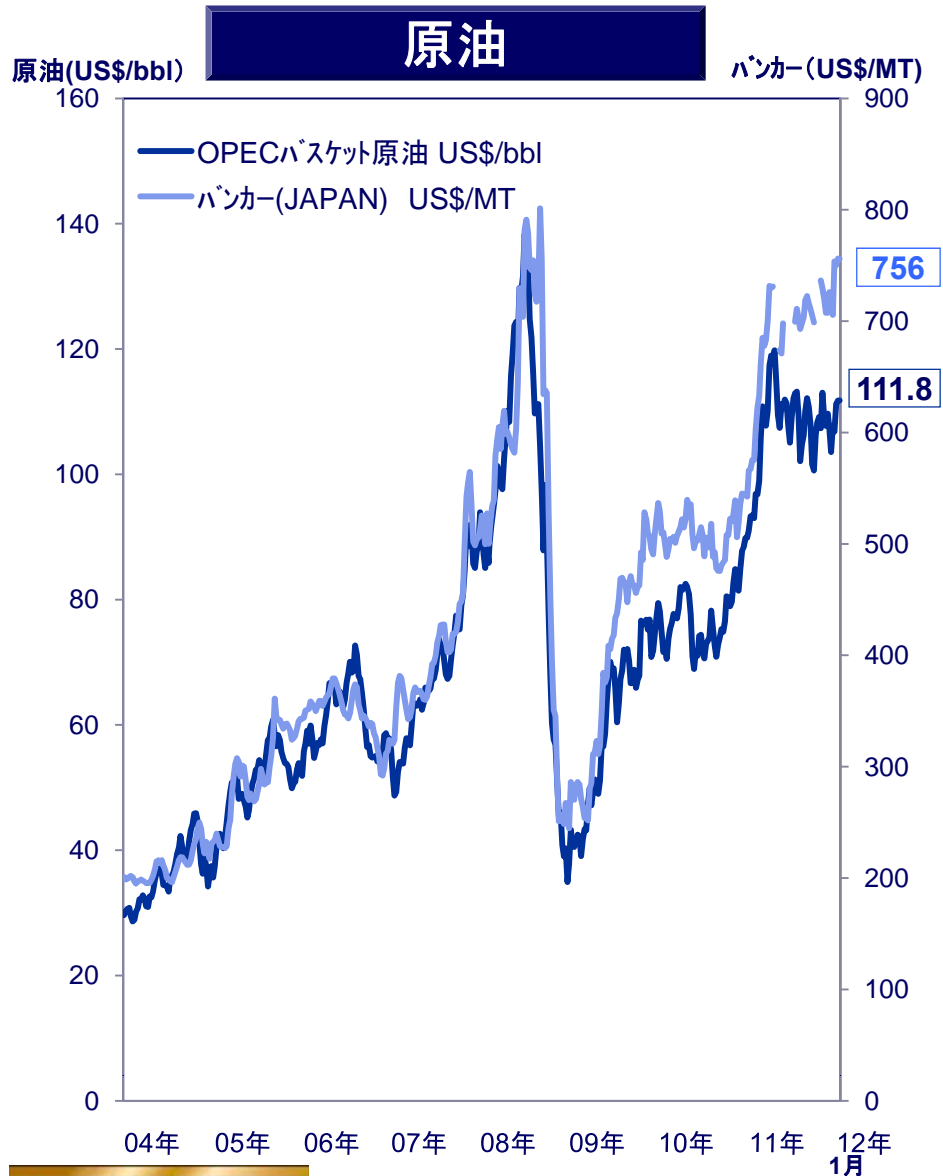
鉄鉱石



原料炭



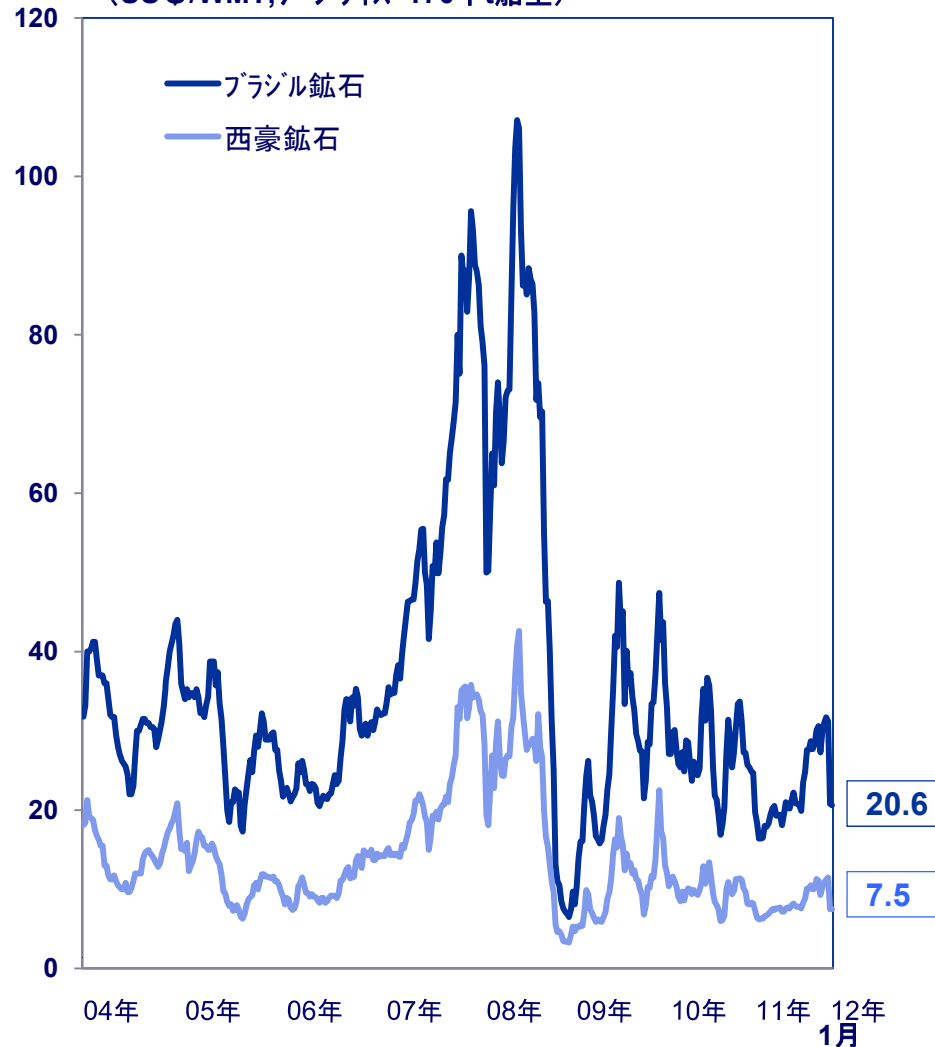
原料市況 <原油・スクラップ>



原料市況 <フレート・型鉄>

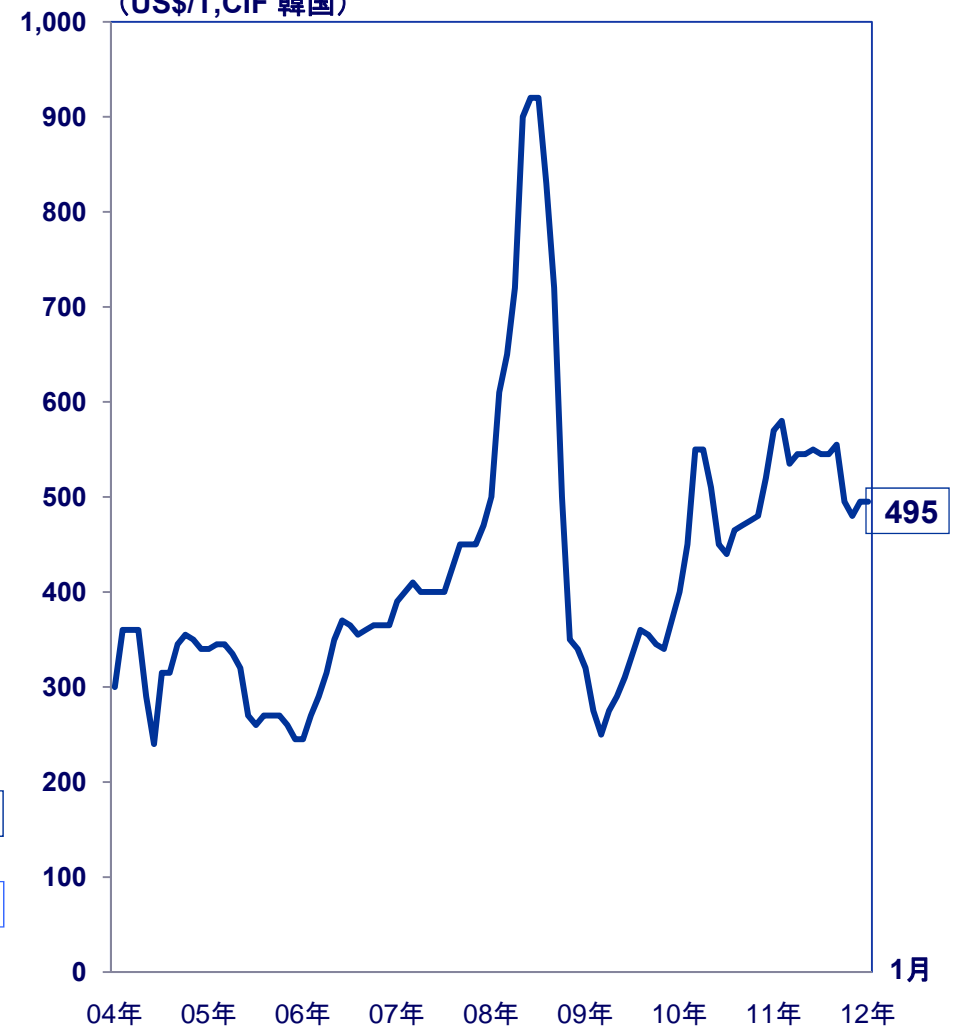
フレート

(US\$/WMT, ケープサイズ 170千t船型)

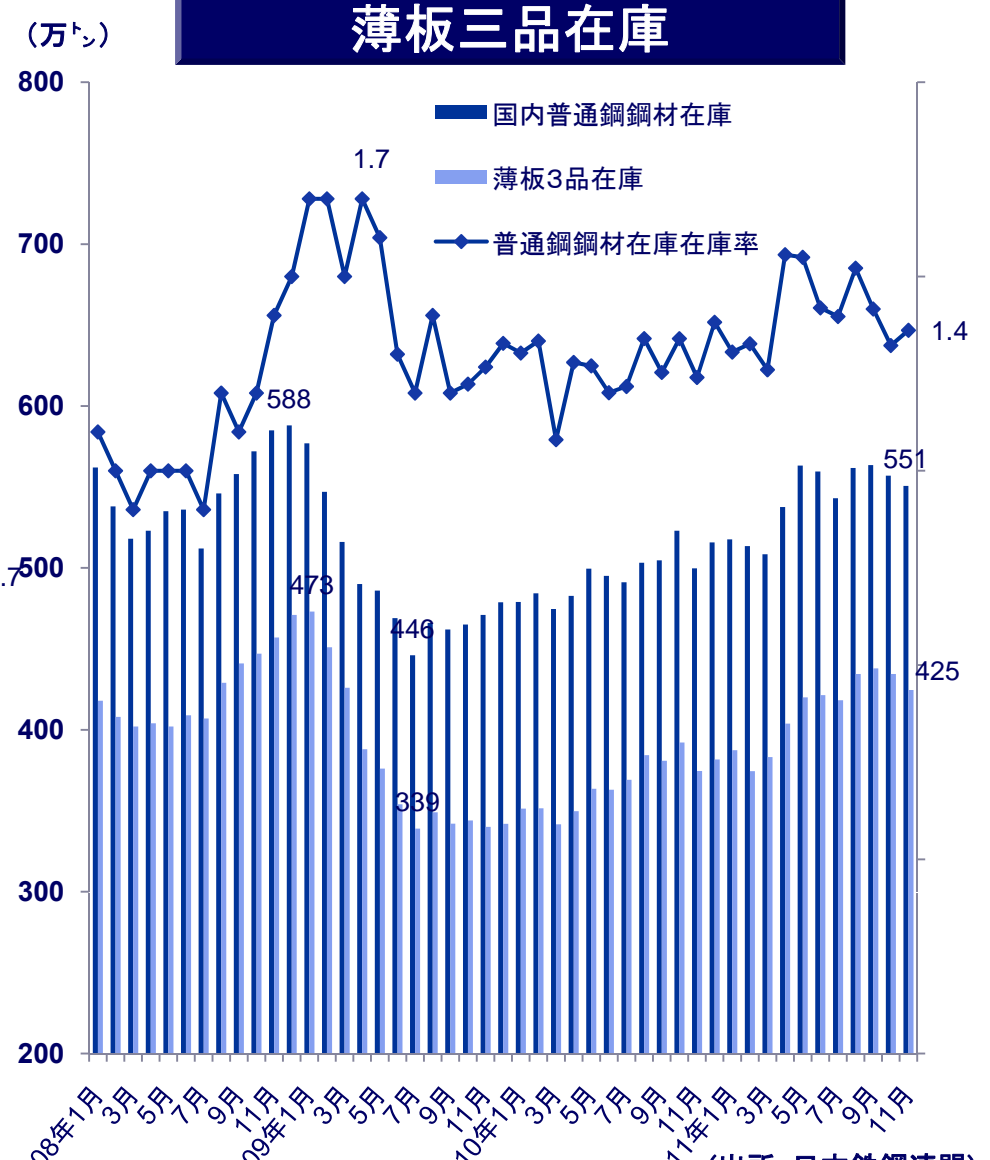
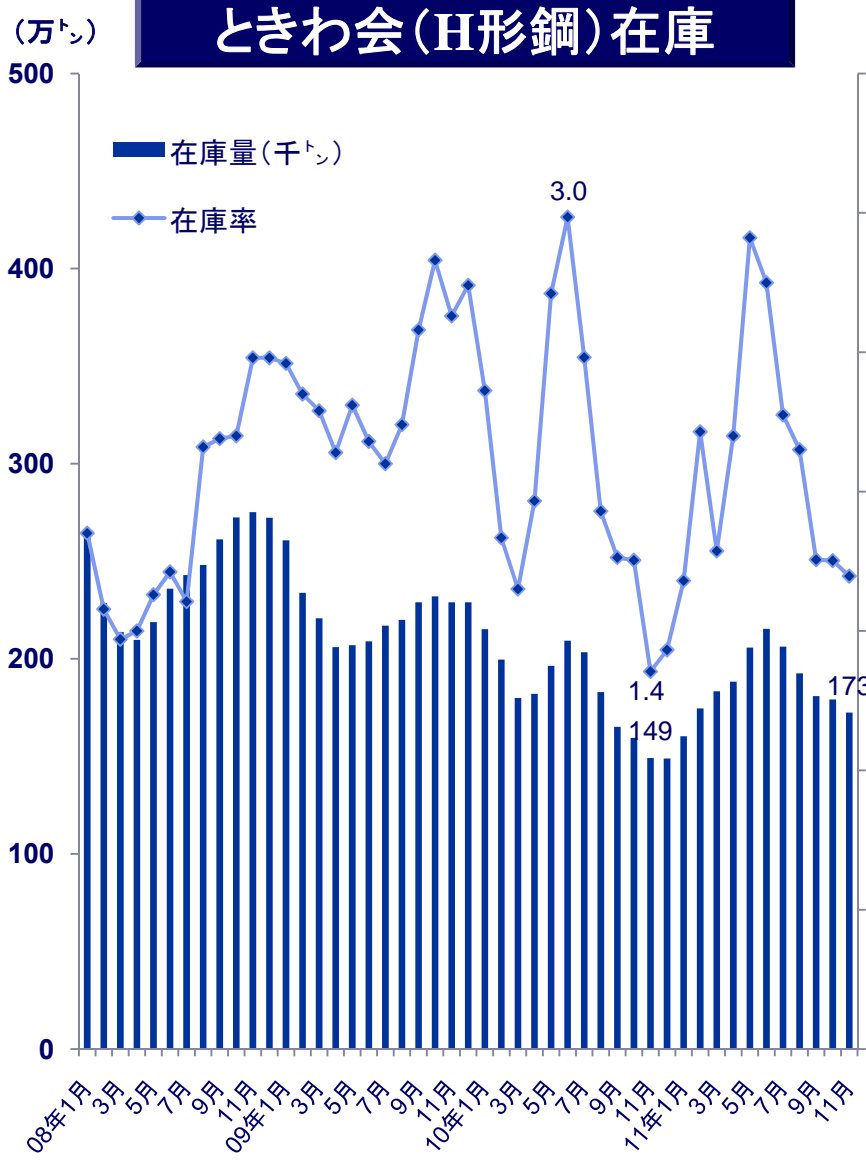


型鉄

(US\$/T, CIF 韓国)



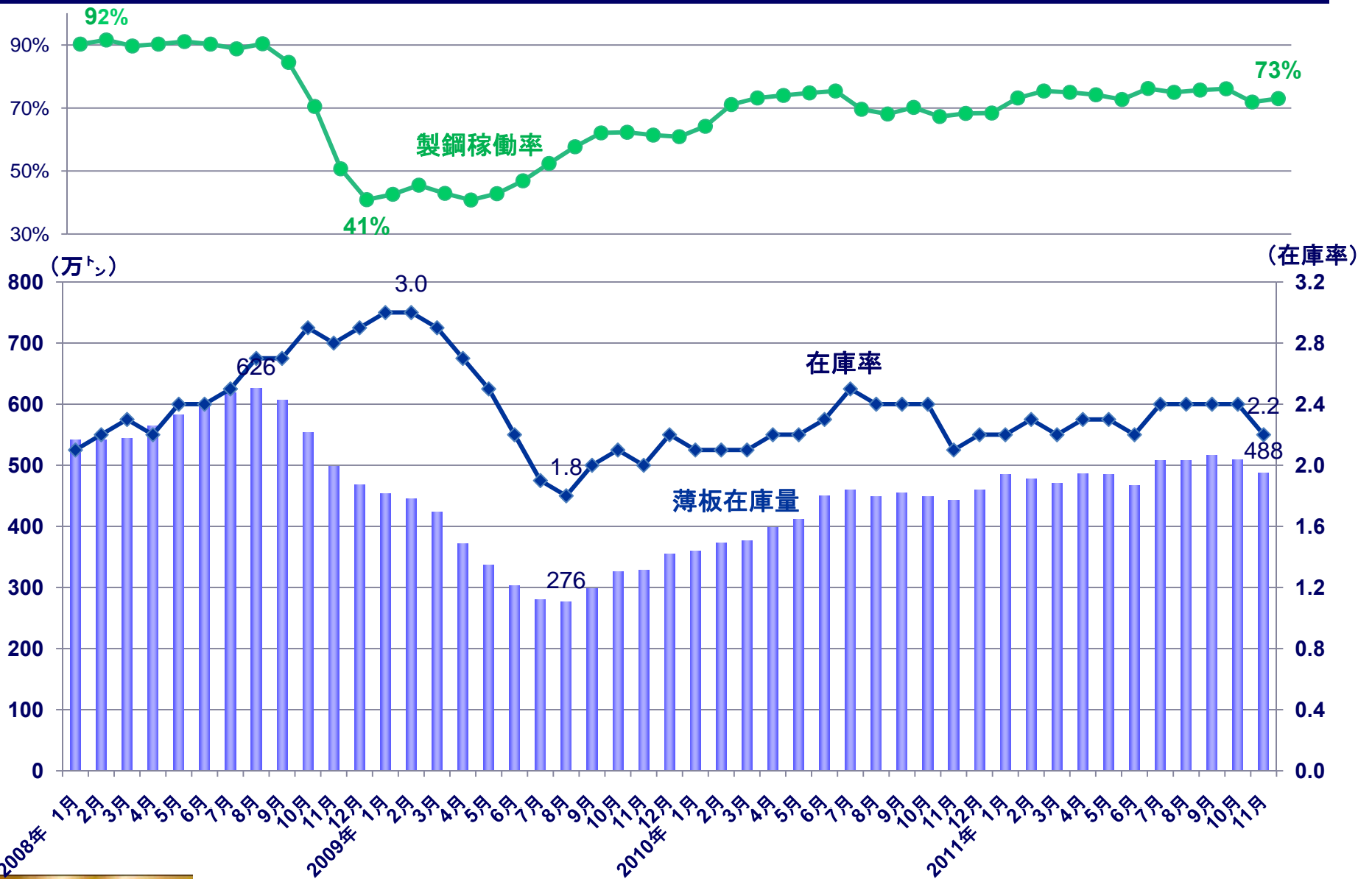
国内鋼材在庫推移



(出所: 日本鉄鋼連盟)



米国鋼材在庫量・製鋼稼働率推移



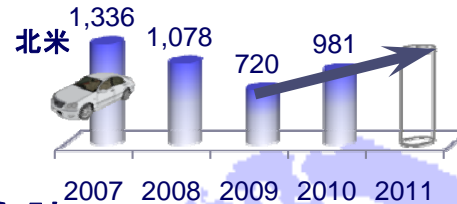
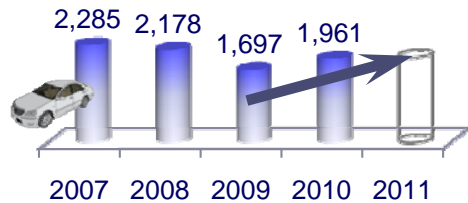
当社と日経平均株価推移(2006年4月起点指数グラフ)





3. 海外事業展開について

グローバル自動車用鋼板等供給体制



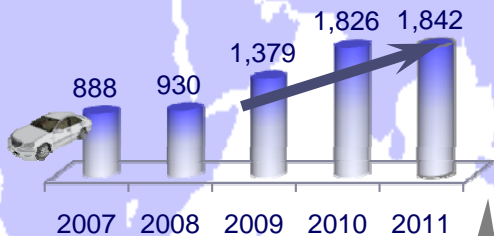
米国
I/N Tek 40%
I/N Kote 50%

欧州
Arcelor Mittal社/技術クロスライセンス

海外JV生産合計
680万トン
(当社持分換算
300万トン程度)

中国
BNA 50%

[冷延220万トン/CAPL95万トン/CG125万トン]

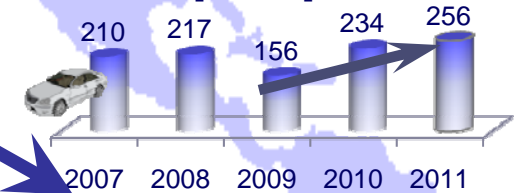


新日鉄

タイ SUS 50%
[冷延 100万トン]

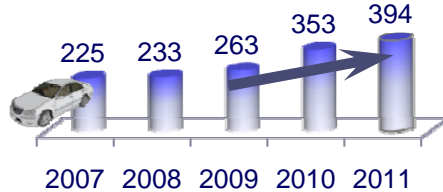
メキシコ
TENIGAL 49%

新CGLライン[40万トン]稼働(2013年)

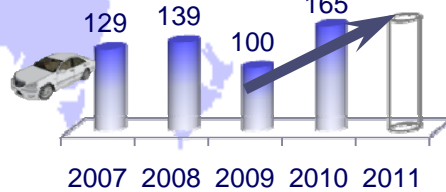


インド
TATA社とのJV 49%

新冷延ライン[60万トン]稼働(2013年)



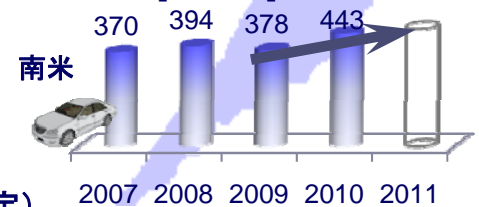
タイ 100%
Nippon Steel
Galvanizing(Thailand) Co., Ltd.
[CG 36万トン]稼働(2013年)



ブラジル
UNIGAL 30%

[CG 48万トン]

#2CGLライン[55万トン]増設(2011年)



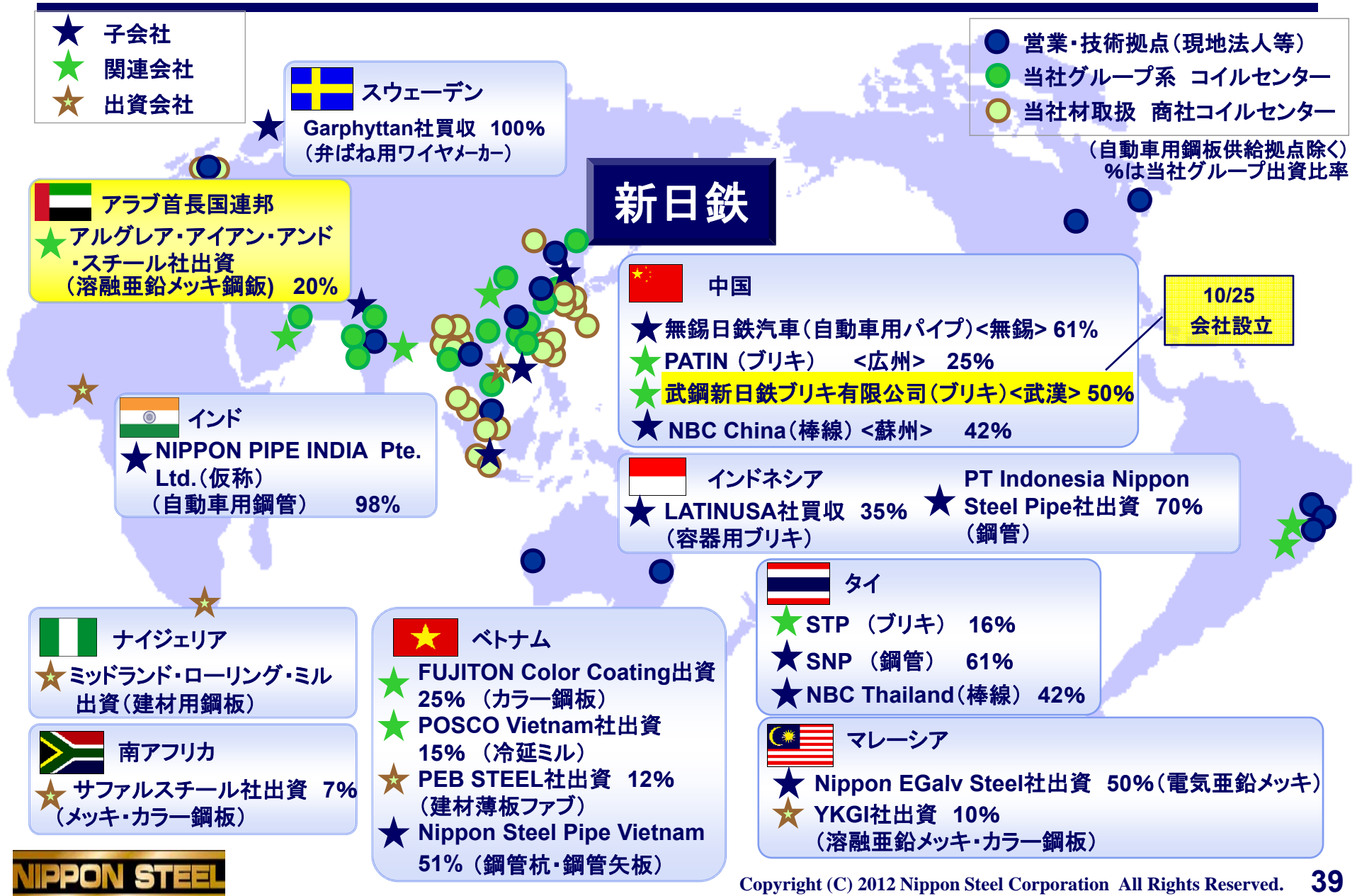
■ 稼働済
■ 建設中

完成車生産台数
(実績・予測)万台



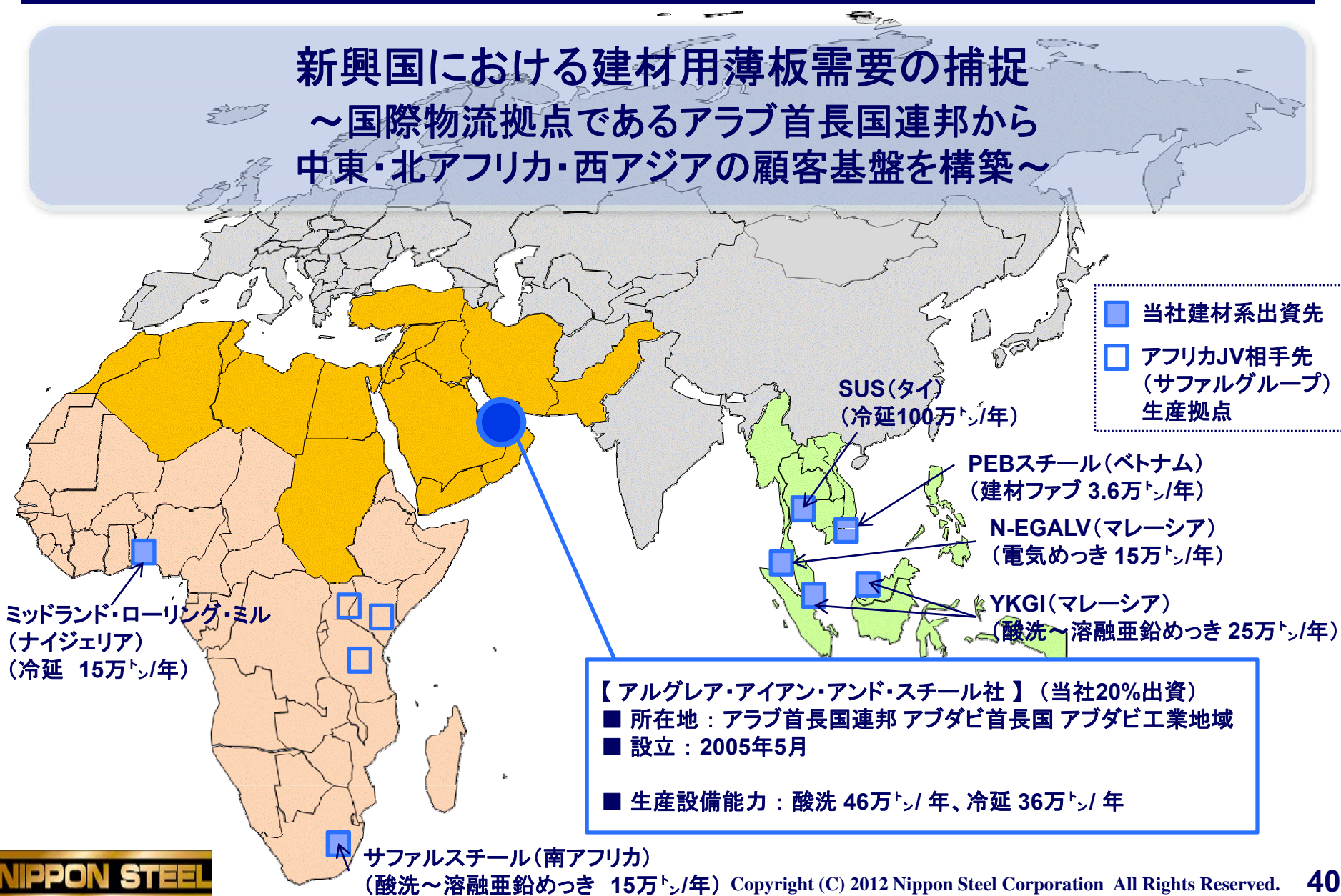
(出所: 各種公表情報等・当社推定)

新興国需要の捕捉



(参考) 中東・北アフリカ・西アジア地域の建材薄板需要捕捉

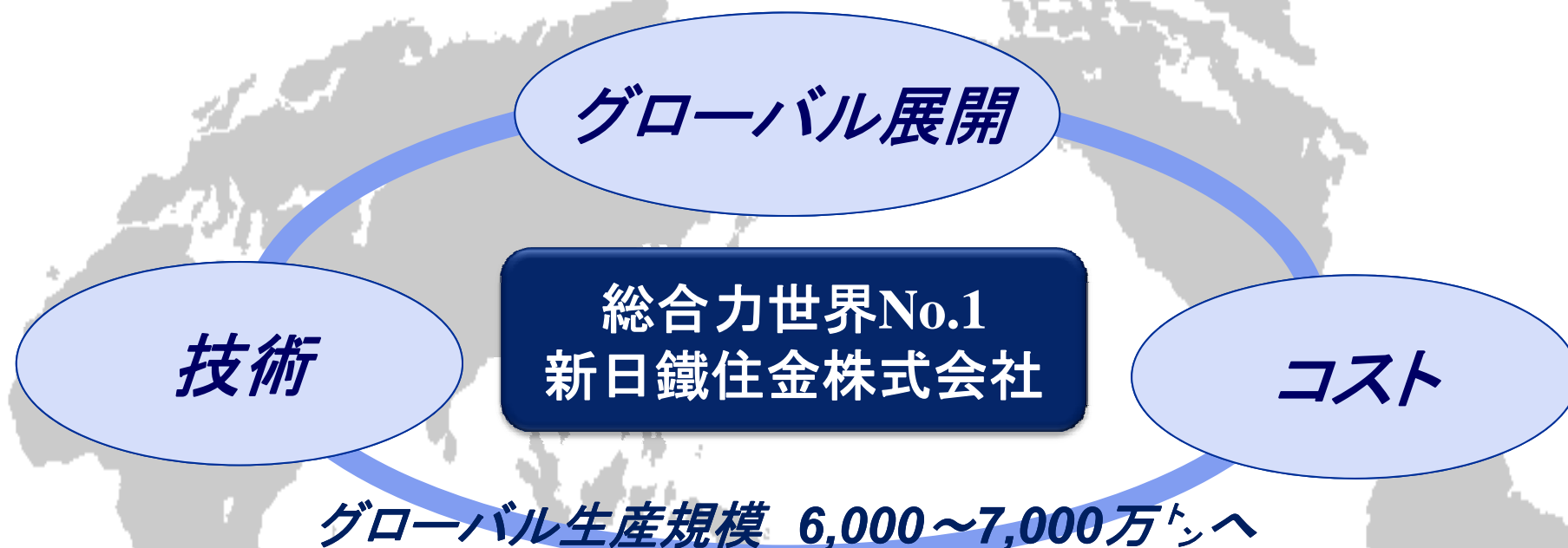
新興国における建材用薄板需要の捕捉
～国際物流拠点であるアラブ首長国連邦から
中東・北アフリカ・西アジアの顧客基盤を構築～



4. 住友金属工业(株)との経営統合の進捗状況について

総合力世界No.1の鉄鋼メーカーへ

世界一の技術力で素材としての鉄の可能性を極限まで追求
世界経済の成長と豊かな社会の創造に寄与



<スケジュール(予定)>

*緑色は現予定スケジュール

- ・ 2011年 2月 3日 経営統合検討に関する覚書締結
- ・ 2011年 9月22日 統合基本契約の締結
- ・ 2011年12月14日 公正取引委員会による経営統合の承認

- ・ 2012年 4月 合併契約の締結
- ・ 2012年 6月 各社、定時株主総会にて合併契約のご承認
- ・ 2012年10月 1日 合併期日(統合期日)

統合効果の早期実現

統合後3年程度を目途に年率1,500億円の統合効果を実現

項目	年間効果額
【グローバル展開の拡充関連】 ①両社人材を活用した海外事業展開の加速 ②海外生産・営業拠点の再編・強化 ③上記に対応した管理間接部門等の効率化 等	300億円程度
【技術・研究開発関連】 ①技術・研究開発分野の融合による技術先進性発揮 （操業・製造技術のベストプラクティス共有化含む） ② R&Dスピードアップ・効率化 等	400億円程度
【生産・販売関連】 ①製造工程一貫での生産効率化（製鉄所間連携効果を含む） ②製造ライン毎の最適分担による生産性向上 等	400億円程度
【調達関連】 ①原料調達・輸送の効率向上 ②設備仕様共通化等による設備費・修繕費・資材費削減 ③資金調達の一元化・資金管理の効率化 等	400億円程度
合計	1,500億円程度

今後、更に施策・効果の上積みに努力します。

定常コスト削減についても、従来以上に取組みを強化してまいります。

製鉄所間の連携強化とベストプラクティス共有化

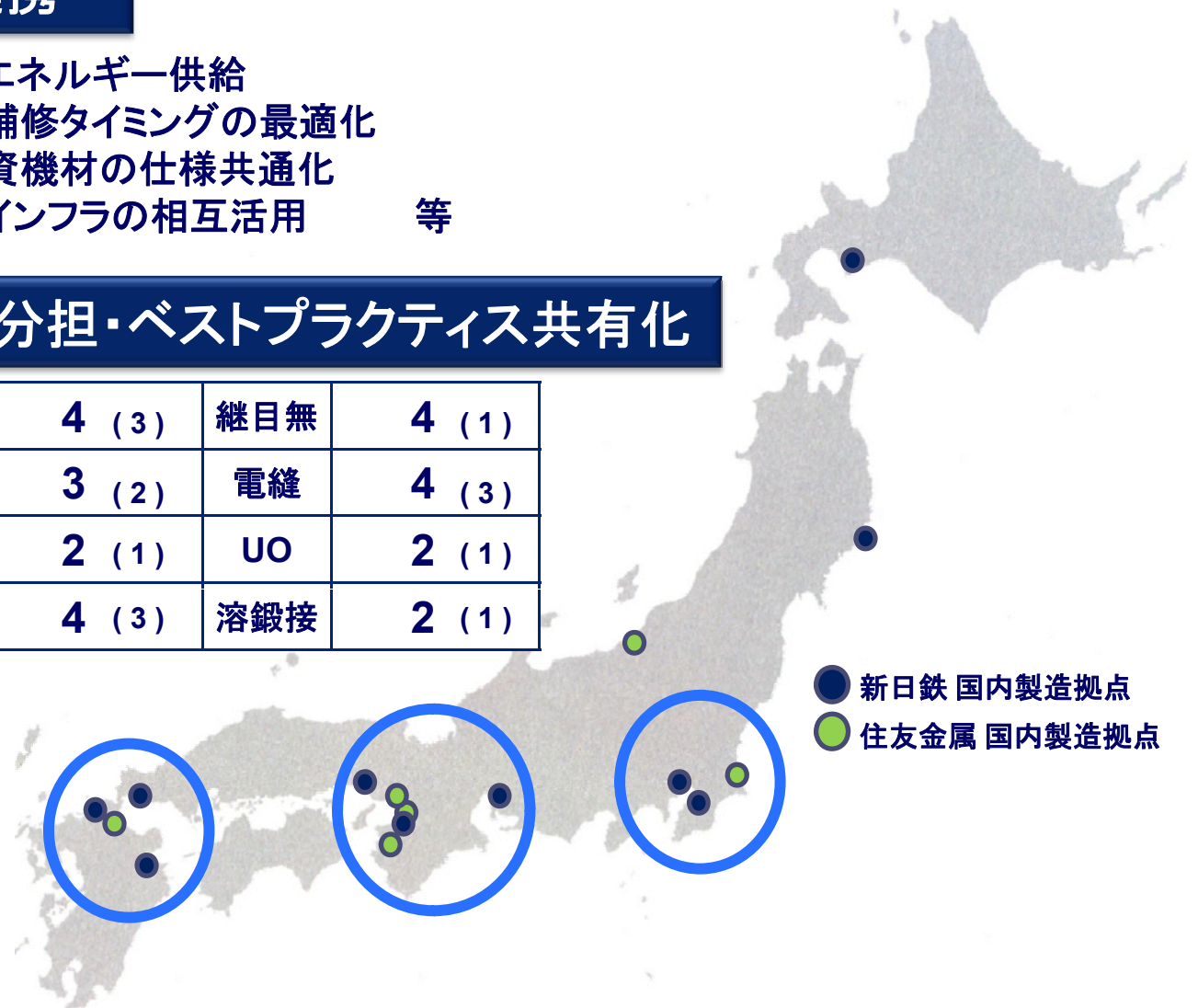
近隣製鉄所間の連携

- 粗鋼の融通
 - 原料輸送の効率化
 - 原料在庫の効率化
 - エネルギー供給
 - 補修タイミングの最適化
 - 資機材の仕様共通化
 - インフラの相互活用
- 等

製造ライン毎の最適分担・ベストプラクティス共有化

熱延	6 (5)	厚板	4 (3)	継目無	4 (1)
冷延	13 (9)	大形	3 (2)	電縫	4 (3)
CGL	18 (14)	棒鋼	2 (1)	UO	2 (1)
EGL	8 (6)	線材	4 (3)	溶鍛接	2 (1)

() 内は新日鉄の各製造ライン数



● 新日鉄 国内製造拠点
● 住友金属 国内製造拠点

両社の技術を融合した、先進の技術開発・製品開発を追求

お客様のニーズ変化・高度化に応える開発力・競争力

	新日鉄	住友金属
鉄源	コークス炉診断・補修技術（大河内賞）	次世代製鋼プロセスの開発（大河内賞）
自動車 ・造船 ・エネルギー	衝突エネルギー吸収・プレス成型性に優れた自動車用鋼板（大河内賞） 大型コンテナ用高強度鋼板（大河内賞） 原油タンカー用耐食性鋼板（市村賞）	溶接部の疲労強度を高めた高級厚板（市村賞） 超高強度耐サワー低合金油井管（全国発明表彰） 超々臨界発電を可能にしたボイラーチューブ（大河内賞）

鉄鋼会社では世界トップの特許保有件数

	新日鉄	住友金属	統合新会社
国内保有特許件数 (2011年5月時点)	7,957件	3,698件	11,655件
国際特許公開件数 (2006年～2010年) (※)	561件	347件	908件
研究開発費 (2010年度)	466億円	227億円	693億円

(※)参考: 競合者国際特許公開件数 JFE 329件、POSCO 234件、ArcelorMittal100件

先進のその先へ、新日鉄

www.nsc.co.jp

本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料でなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載された将来の予測等は、説明会の時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、不確定要素を含んでおります。従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控えくださいますようお願い致します。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。